

# 令和元年度 富山国際大学 学務部自己点検評価報告書

## I. 概要（現状と課題）

## II. 委員会・部会（評価・課題）

### 1. 学務委員会

（1）学務委員会

（2）教養教育部会

（3）FD推進部会

（4）教職課程委員会

### 2. 図書館委員会

3. 情報センター運営委員会

4. キャリア支援センター運営会議

5. 国際交流センター運営会議

## III. 業務運営状況（評価・課題）

1. 教務課業務

2. 図書館業務

3. 情報センター業務

4. 学生課業務

5. キャリア支援センター業務

6. 国際交流センター業務

## IV. その他

令和2年3月  
富山国際大学 学務部

## I. 概要 (現状と課題)

学務部各部門における令和元年度実施内容については、平成30年度から始まった5か年計画のアクションプランで設定した達成目標を含め、実施した内容について取りまとめた。

### 1. 教務系部門 (教務課、情報センター、図書館)

平成29年度からスタートした副専攻プログラムに関しては、本年度当初、グローバル人材育成プログラムに18名(後に3名辞退)、地域創生人材プログラムに24名の申請があり、興味をもってくれた学生が一定数いた。令和元年度終了時点では、グローバルで3名、地域創生で1名の修了者を送り出すことができ、今後申請者のアフターフォローを遂行しながら、引き続きグローバル人材、地域創生人材の育成の支援にあたっていく。

Webシラバスもある程度軌道に乗り、今後の更なる積極的な活用が必要となる。シラバスにおいては特に、到達目標と成績評価との関係を明らかにして記述するように教員へ周知した。

また、学修意欲を評価するGPAを活用した「退学勧告」制度も学生や教職員に周知されるとともに、2019年度からはGPA優秀者に対するキャップ制の緩和も実施し、学生の学修意欲の向上を図っている。

学生への教育活動は3つのポリシー(ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシー)に基づいて進められているが、このうちカリキュラムポリシーに定めのある「教育評価」については、より具体的な評価方法を検討してアセスメントポリシーの策定に向けて議論を重ねた。アセスメントポリシーの全体的な方向性は出されたものの、ディプロマポリシーとの関連における学修成果の可視化の具体的な方法については、さらに検討していく。

また令和2年度は、学生が自分の現状を把握し目標を具体的に設定するためのツールとして、eポートフォリオの導入について検討する。

情報分野では、スマホ慣れした学生に向け、就職・教育現場等で必須活用となるパソコンを斡旋し利用促進に努めたところ、令和元年度では新入生全体で114(現代社会学部45、子ども育成学部69)台余り購入し使用している。そのためのネットワークサービスが肝要であるため、特にネットワーク専用線の増強やWiFi環境の改善に向けて検討し予算化を図った。さらに、学園情報教育研究センター内でデスクフォースが生まれ、本学が中心となって情報化の加速化を推進するスタートに立った。

図書館の利用状況は、昨年度に比べ本年度は現代社会学部では貸出冊数も利用率も上昇し、子ども育成学部は短大と共有していることもあるが、全体として昨年度より若干上昇している。今後、特に東黒牧キャンパスでは図書サークル活動を活性化させ、利用率アップを図っていく予定である。また、本年度は、本学が主幹事校として11月に富山において開催した京都地区図書館協議会の研究大会を、富山短期大学の図書館司書の授業を受け持つ東野准教授や、高岡市万葉歴史館の新谷学芸課長の講演を拝聴しつつ、高志の国文学館を拝観できる会を成功裏に終了できたことは、大変有意義であった。

### 2. 学生支援部門 (学生課、キャリア支援センター、国際交流センター)

本年度取り組んだ内容として、東黒牧キャンパスにおいては、自然環境との共生の場にふさわしい緑化・花づくりなど心地よい環境づくりに加え、昨年に続き、学長裁量経費(学務部申請)の採択を受け、冬場の賑わい創出の一環として学友会と学務部関係教職員とが協働でクリスマス・イルミネーション、クリスマスツリーの設置を行うとともに、ハロウィンの飾り付けをして、キャンパス内を活気づけた。後期からは食堂の業者を変更しメニュー改善に努めた。また、文房具、お菓子販売などのミニ売店設置など学生の意見を取り入れて生活環境の整備に取り組んだ。

呉羽キャンパスにおいては、自学自習できる設備環境を整え、クラブ・サークル活動でも昨年度より一層充実した活動ができるよう継続的に資金面で配慮した。ボランティア活動も年々広まりを得て、地域参加が増えている。

経済的な支援を要する学生への奨学金支援、諸活動入学生に対して文武両道を図るためのGPA(2.0程度)の厳守と厳格な指導を心掛けた。また、これまで存在しなかったクラブ関係の規定を策定し、部活やサークル活動を実施するための指針を定めた。さらに、富山国際大学らしいあり方として留学生との交流(チューター制度導入)を実施。学生の提案型事業である「夢への架け橋事業」については、応募件数が平成29年度は8件、平成30年度は16件、令和元年度は11件と、ここ数年順調に推移してきているが、これまでの広く浅くという支援のあり方を、令和2年度は変更し限定的に手厚く支援する予定である。また、審査に必要な資料の事前提供などにより審査のスピード化を図る。

豊かな学生生活を送るための支援活動として、学友会などの活動を教職員が積極的に支援し、大学行事であるスポーツ文化交流会、大学祭なども学生と教職員との連携によって行った。ただし、現代社会学部では、低学年の大学祭実行委員の数が少ないため、今後の実施に向けた仕組みづくりを考える必要がある。

現代社会学部・子ども育成学部とも自動車での通学学生が多いため、「学生の駐車指導」をはじめ、事故を未然に防ぐための「交通安全指導」について警察の協力を得て教職協働で注意喚起を図っている。特に、東黒牧キャンパスでは、令和元年度も学生と職員で交通安全キャンペーン活動を毎月1回継続して実施しており、東黒牧近辺で起きたかつての痛ましい事故の記憶を風化させない活動を今後も継続していく。

国際交流に関する支援では、現代社会学部の留学生へのケアや全学学生の留学をサポートしている。

キャリア支援に関しては現代社会学部、子ども育成学部ともに就職率100%を達成した。また有力企業への採用の占める割合も金融関係、上場企業の占める割合が上がった。平成30年度の傾向として、平成29年度に引き続き重複内定者増により、企業に迷惑を掛けないように学生指導をした。新たな試みとして「平成30年度 就職活動に向けた企業研究会」を実施した。子ども育成学部でも、専門職である小学校教諭、保育・幼稚園教諭の採用が前年度水準を維持し、社会福祉士の合格率も全国で上位の合格率となっている。

令和元年度学務部事業については、4年生アンケートで特にキャリア関係の満足度が高い一方で、前年度よりやや低くなっている項目もある。スタッフ数の減少、職員の高齢化などもあるが、学生の自立の低下に伴い、相談時間が増し、現在の配置では限界に達している。加えて、労働基準監督署から就業時間管理の指導を受け、学生対応と輻輳する大量の事務処理を就業時間内で完結することが困難となっており、それによる学生満足度の低下が懸念される。事務業務の省力化ばかりでなく、補助業務者の手当等も含めた対策が喫緊の課題である。

### 3. 基本情報

・令和元年度 在籍者数（令和元年5月1日現在）

#### 2019年度富山国際大学在学者数

2019/5/1現在

	学部	学科	総数	男女別数		県内外別数		男女県内外別数			
				男	女	県内	県外	男県内	女県内	男県外	女県外
1年生	現代社会	現代社会	147	89	58	124	23	72	52	17	6
	休学		1	0	1	1	0	0	1	0	0
	子ども育成	子ども育成	99	16	83	94	5	16	78	0	5
	休学		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計		246	105	141	218	28	88	130	17	11
休学		1	0	1	1	0	0	1	0	0	

	学部	学科	総数	男女別数		県内外別数		男女県内外別数			
				男	女	県内	県外	男県内	女県内	男県外	女県外
2年生	現代社会	現代社会	129	88	41	104	25	71	33	17	8
	休学		1	0	1	1	0	0	1	0	0
	子ども育成	子ども育成	92	17	75	91	1	17	74	0	1
	休学		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計		221	105	116	195	26	88	107	17	9
休学		1	0	1	1	0	0	1	0	0	

	学部	学科	総数	男女別数		県内外別数		男女県内外別数			
				男	女	県内	県外	男県内	女県内	男県外	女県外
3年生	現代社会	現代社会	107	63	44	83	24	53	30	10	14
	休学		1	0	1	0	1	0	0	0	1
	子ども育成	子ども育成	116	23	93	113	3	22	91	1	2
	休学		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計		223	86	137	196	27	75	121	11	16
休学		1	0	1	0	1	0	0	0	1	

	学部	学科	総数	男女別数		県内外別数		男女県内外別数			
				男	女	県内	県外	男県内	女県内	男県外	女県外
4年生	現代社会	現代社会	100	60	40	70	30	47	23	13	17
	休学		1	1	0	1	0	1	0	0	0
	子ども育成	子ども育成	92	22	70	86	6	18	68	4	2
	休学		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計		192	82	110	156	36	65	91	17	19
休学		1	1	0	1	0	1	0	0	0	

	学部	学科	総数	男女別数		県内外別数		男女県内外別数			
				男	女	県内	県外	男県内	女県内	男県外	女県外
全学年	現代社会	現代社会	483	300	183	381	102	243	138	57	45
	休学		4	1	3	3	1	1	2	0	1
	子ども育成	子ども育成	399	78	321	384	15	73	311	5	10
	休学		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計		882	378	504	765	117	316	449	62	55
休学		4	1	3	3	1	1	2	0	1	

※表内人数には交換留学生を含まない。

※合計には休学者数を含む

・令和元年度 退学者数等（令和2年3月31日現在）

《現代社会学部》

	1年(31年度)	2年(30年度)	3年(29年度)	4年(28年度)	計
入学者数	146	127	108	94	475
3月末現在在籍者	145	126	102	90	463
留年者数	0	0	1	0	1
小計	145	126	103	90	464
退学者	1	1	5	4	11
退学者率	0.68%	0.79%	4.63%	4.26%	2.32%

《子ども育成学部》

	1年(31年度)	2年(30年度)	3年(29年度)	4年(28年度)	計
入学者数	99	91	116	89	395
3月末現在在籍者	99	91	111	87	388
留年者数	0	0	1	0	1
小計	99	91	112	87	389
退学者	0	0	4	2	6
退学率	0.00%	0.00%	3.45%	2.25%	1.52%

・令和元年度就職内定状況

令和2年3月31日現在

単位：人

学部	性別	学生数	内休学者数	卒業者数	就職希望者	内定者	内定率	未内定者	進学・留学希望者	内進学留学決定者	進学も就職もしない	卒業延期者
現代社会	男	59	0	57	50	50	100.0%	0	3	3	4	2
	女	40	0	40	35	35	100.0%	0	3	3	2	0
	計	99	0	97	85	85	100.0%	0	6	6	6	2
子ども育成	男	22	0	22	17	17	100.0%	0	3	3	2	0
	女	70	0	70	68	68	100.0%	0	2	2	0	0
	計	92	0	92	85	85	100.0%	0	5	5	2	0
合計	男	81	0	79	67	67	100.0%	0	6	6	6	2
	女	110	0	110	103	103	100.0%	0	5	5	2	0
	合計	191	0	189	170	170	100.0%	0	11	11	8	2

※上記表には、現代社会学部9月卒業生7名（男子2名・女子5名）を含む。

・令和元年度図書館基本情報

【貸出冊数】

＜東黒牧キャンパス＞

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大学生	冊数	57	126	134	183	51	20	107	129	116	237	42	6	1,208
	人数	37	77	72	113	27	8	62	86	64	143	23	3	715
研究生	冊数						3	3	4	2	1	0	0	13
	人数						1	1	2	1	1	0	0	6
聴講生	冊数													0
	人数													0
大学教員	冊数	10	13	9	18	2	11	20	20	9	15	15	10	152
	人数	4	4	6	7	1	1	7	3	5	4	3	2	47
非常勤講師	冊数									3	2	2		7
	人数									2	1	1		4
職員	冊数	2	4		1			1	1	3	2	3	0	17
	人数	2	1		1	2		1	1	1	2	3	0	14
臨時職員	冊数	6	8	10	8	8	4	11	9	7	4	13	6	94
	人数	5	6	7	5	0	1	7	7	3	2	5	4	52
学外者	冊数													0
	人数													0
計	冊数	75	151	153	210	61	38	142	163	140	261	75	22	1,491
	人数	48	88	85	126	30	11	78	99	76	153	35	9	838

＜呉羽キャンパス＞ 短大図書館利用者を含む

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大学生	冊数	115	345	268	466	254	40	427	528	353	205	65	28	3,094
	人数	67	206	168	256	99	23	189	241	177	97	32	11	1,566
短大生	冊数	175	556	745	389	98	60	344	246	278	204	55	35	3,185
	人数	103	360	426	232	49	43	210	156	175	108	36	27	1,925
研究生	冊数	1	0	1	4	0	0	1	3	0	0	0	0	10
	人数	1	0	1	3	2	0	1	1	0	0	0	0	9
大学教員	冊数	15	24	24	17	11	12	9	20	33	27	4	12	208
	人数	11	11	13	10	5	3	7	11	9	12	4	3	99
非常勤講師	冊数	16	17	24	21	11	12	31	26	21	15	10	0	204
	人数	10	11	10	7	6	4	15	17	12	11	4	3	110
高校専任教員	冊数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5
	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
短大教員	冊数	28	48	37	62	50	45	65	47	29	45	57	19	532
	人数	13	24	21	24	27	18	31	22	19	19	20	9	247
職員	冊数	21	35	24	60	30	18	37	21	42	40	29	22	379
	人数	20	23	17	26	22	11	24	12	22	21	22	14	234
臨時職員	冊数	3	1	5	10	7	8	5	6	10	8	4	2	69
	人数	4	1	4	7	7	6	4	3	3	4	5	3	51
幼稚園	冊数	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	人数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
学外者	冊数	3	7	0	0	4	3	7	9	7	2	3	3	48
	人数	1	4	0	0	3	2	5	4	4	1	1	1	26
合計	冊数	377	1,039	1,128	1,029	465	198	926	906	773	546	232	121	7,740
	人数	230	641	660	565	220	110	486	467	421	273	125	71	4,269

【入館者数及び開館日数】 ＜東黒牧キャンパス＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入館者数	1,605	1,522	1,592	1,873	742	165	1,408	1,297	1,117	1,247	455	193	13,216
開館日数	20	19	19	22	12	17	21	20	20	19	18	20	227
1日平均	80.3	80.1	83.8	85.1	61.8	9.7	67.0	64.9	55.9	65.6	25.3	9.7	58.2

## II. 委員会・部会（評価・課題）

### 1. 学務委員会（案）

#### （1）学務委員会

##### 【目標】

富山国際大学学務委員会規程第2条に規定する審議内容のうち、令和元年度は主に次の事項を議論した。

- ① アセスメントポリシーについて
- ② 奨学制度の見直しについて
- ③ 学生の懲戒規程について
- ④ 障がいのある学生への学修支援について
- ⑤ その他

##### 【実施内容】

###### ・構成メンバー：

大谷学務部長、大藪学務部次長、佐藤(悦)教授、高橋准教授、谷脇講師、松山准教授、金子講師、佐部利講師、南呉羽キャンパス事務室事務長、岩木学生課長、酒井教務課長、石黒係長（以上12名）

###### ・会議内容

開催日時・場所・出欠	審議事項	報告事項
平成31年4月5日（金） 14:00～15:25 東黒牧C・呉羽C Web会議 出席：12名 欠席：0名	1. 編入学生（2+2）の単位認定について 2. 懲戒規程の改正について 3. 第2種奨学生について 4. 2018年度学務部自己点検評価について 5. 2019年度年度全学学務委員会委員担当業務・開催日程（案）について 6. その他	1. 教務課からの報告について 2. 学生課からの報告について 3. 学部学務委員会について 4. その他
令和元年5月8日（水） 13:10～14:30 東黒牧C・呉羽C Web会議 出席：12名 欠席：0名	1. 学生の学籍異動について（新規および追認） 2. 学生指導記録について 3. スポーツ文化交流会について 4. 学生団体結成願について 5. 学生の懲戒に関する規程の改正について 6. クラブ会について 7. その他	1. 教務課からの報告について 2. 学生課からの報告について 3. 学部学務委員会について 4. その他
令和元年6月5日（水） 16:00～17:30 東黒牧C・呉羽C Web会議 出席：12名 欠席：0名	1. 第1種奨学金について 2. 奨励金について 3. 夢への架け橋助成事業について 4. 学生の懲戒に関する規程の改正について 5. クラブ会について 6. 茶道サークルの部昇格について 7. その他	1. 教務課からの報告について 2. 学生課からの報告について 3. 学部学務委員会について 4. その他
令和元年7月3日（水） 13:10～14:30 東黒牧C・呉羽C Web会議 出席：11名 欠席：1名	1. 授業アンケート実施（案）について 2. 2020年度学年暦（案）について 3. クラブ会について 4. その他	1. 教務課からの報告について 2. 学生課からの報告について 3. 学部学務委員会について 4. その他
令和元年8月7日（水） 13:10～14:30 東黒牧C・呉羽C Web会議 出席：11名 欠席：1名	1. 2019年度学務部アクションプランについて 2. 2020年度学年暦（案）について 3. その他	1. 教務課からの報告について 2. 学生課からの報告について 3. 学部学務委員会について 4. その他
令和元年9月6日（水） 13:10～14:30 東黒牧C・呉羽C Web会議	1. 学籍異動について 2. 9月卒業・10月入学について	1. 教務課からの報告について 2. 学生課からの報告について 3. 学部学務委員会について

出席：10名 欠席：2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>3. 研究生の受入れについて</li> <li>4. 後期オリエンテーションについて</li> <li>5. 学生生活アンケートについて</li> <li>6. アセスメントポリシーについて</li> <li>7. その他</li> </ul>	4. その他
令和元年10月2日(水) 13:10~14:10 東黒牧C・呉羽C Web会議 出席：11名 欠席：1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 学生の学籍異動について</li> <li>2. 2+2 編入学生の単位認定について</li> <li>3. 9月卒業について(追認)</li> <li>4. 大学祭について</li> <li>5. その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 教務課からの報告について</li> <li>2. 学生課からの報告について</li> <li>3. 学部学務委員会について</li> <li>4. その他</li> </ul>
令和元年11月6日(水) 13:10~14:50 東黒牧C・呉羽C Web会議 出席：12名 欠席：0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 学生の学籍異動について</li> <li>2. 2020年度Webシラバス入力・修正要領(案)について</li> <li>3. アセスメントポリシーについて</li> <li>4. 2020年度学生便覧編集方針(案)について</li> <li>5. 2020年度学年暦(案)について</li> <li>6. 学生の学籍異動について(新規及び追認)</li> <li>7. 「部」昇格願について</li> <li>8. その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 教務課からの報告について</li> <li>2. 学生課からの報告について</li> <li>3. 学部学務委員会について</li> <li>4. その他</li> </ul>
令和元年12月4日(水) 13:10~14:40 東黒牧C・呉羽C Web会議 出席：11名 欠席：1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 学生の学籍異動について</li> <li>2. 転学部にかかる手続き等について</li> <li>3. アセスメント・ポリシー(案)について</li> <li>4. Webシラバス入力・修正要領(案)について</li> <li>5. 学生便覧編集方針(案)について</li> <li>6. 障がいのある学生への学修支援体制(情報公開)について</li> <li>7. インフルエンザ治癒報告書について</li> <li>8. その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 教務課からの報告について</li> <li>2. 学生課からの報告について</li> <li>3. 学部学務委員会について</li> <li>4. その他</li> </ul>
令和2年1月22日(水) 13:10~14:40 東黒牧C・呉羽C Web会議 出席：11名 欠席：1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 令和2年度研究生・科目等履修生募集要項(案)について</li> <li>2. 令和2年度市民聴講生募集要項及び大学コンソーシアム富山単位互換科目について</li> <li>3. 2020年度学年暦(案)について</li> <li>4. 障がい学生支援規程・施行細則(案)について</li> <li>5. 後期授業アンケートについて(追認)</li> <li>6. 卒業生アンケートについて(追認)</li> <li>7. その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 教務課からの報告について</li> <li>2. 学生課からの報告について</li> <li>3. 学部学務委員会について</li> <li>4. その他</li> </ul>
令和2年2月5日(水) 14:30~16:00 東黒牧C・呉羽C Web会議 出席：11名 欠席：1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 2020年度学年暦(案)について</li> <li>2. 副専攻プログラムについて</li> <li>3. 障がい学生支援規程・施行細則(案)について</li> <li>4. 学長賞推薦(案)について</li> <li>5. 学生団体結成願について</li> <li>6. その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 教務課からの報告について</li> <li>2. 学生課からの報告について</li> <li>3. 学部学務委員会について</li> <li>4. その他</li> </ul>
令和2年3月4日(水) 13:10~14:20 東黒牧C・呉羽C Web会議 出席：10名 欠席：2名 (大藪学務部次長 議長代理)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 令和元年度卒業判定・3年次進級判定について</li> <li>2. 副専攻プログラムの修了者について</li> <li>3. 履修規程の改正について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 教務課からの報告について</li> <li>2. 学生課からの報告について</li> <li>3. 学部学務委員会について</li> <li>4. その他</li> </ul>

	4. 障がい学生支援規程・施行規則について 5. 2020年度「夢への懸け橋助成事業」について 6. 学長表彰の追加について（追認） 7. 学籍異動について 8. 外国人科目等履修生の受け入れについて 9. 令和2年度前期オリエンテーション日程について 10. その他	
令和2年3月25日（水） 10:00～11:20 東黒牧C・呉羽C Web会議 出席：11名 欠席：1名	1. アクションプランの達成状況について 2. アセスメントポリシーについて 3. 学生の学籍異動について 4. 成績評価基準の記載について 5. 学生団体結成願について 6. 2020年度本委員会日程及び委員の役割分担について 7. その他	1. 教務課からの報告について 2. 学生課からの報告について 3. 学部学務委員会について 4. その他

#### 【評価】

以前より懸案となっているアセスメントポリシーに関しては、素案を提示し議論の俎上に挙げる事ができた。また、修学支援制度にかかる規程整備も一定のところまでできた。

副専攻プログラムも本年度は、グローバル人材育成プログラム3名、地域創生人材育成プログラム1名の修了者を出す事ができた。

また本年度の終わり3か月ほどは、年初めから蔓延の気配が感じられた新型コロナウイルス感染症への対策について右往左往する場面が増え、次年度の学年暦等への対応などに追われてしまった。

#### 【課題】

アセスメントポリシーについては、大学全体での大枠の方向性は決まっているものの、学修成果の可視化の具体的方法を確定できず、特に外部によるアセスメントテストを導入するかどうかを決める必要がある。アセスメントポリシー自体は次年度中に策定する。

学生が自分の立ち位置を把握し目標をもって学修し、自分への自信を強められるように、eポートフォリオの導入に向けて準備し、将来的にはディプロマサブリメントの実施へとつなげていく。

また、卒業論文の質をレベルアップするために、卒論用ルーブリックを作成し、次年度中の実施を目指す。

奨学制度については、経済的困窮者に対する本学の奨学金制度のあり方に関して、次年度から始まる国の学修支援制度との関係の中で、富山短大と基準を揃えたが、国の制度を利用する学生の動向を見ながら、本学独自の奨学制度を考えていく必要がある。

## (2) 教養教育検討部会

#### 【目標】

##### 1. 2019年度の教養教育について

##### ① 両学部で受講できる教養科目を検討する。

Web講義や東黒牧Cで開講する場合バス移動なども含めて合同でできる授業の開設ができないか検討する。富山大学の状況の調査や各学部単位においては合同できる授業科目があるのかどうか、その際の問題点や課題の洗い出しを行う。

#### 【実施内容】

##### ・構成メンバー

佐藤(悦)教授（部会長）、大谷学務部長、大藪学務部次長、松山準教授、南呉羽キャンパス事務長、酒井教務課長、石黒教務課係長

##### ・会議内容

開催日時・場所・出欠	協議事項	備考
令和元年5月8日(水)	1. 2019年度の教養教育について	

14:35～14:55 東黒牧C・呉羽C Web 会議 出席：7名、欠席：0名	2. その他	
令和元年8月7日(水) 14:40～14:55 東黒牧C・呉羽C Web 会議 出席：7名、欠席：0名	1. 両学部で受講できる教養教育について-1 2. その他	
令和元年11月6日(水) 15:00～15:20 東黒牧C・呉羽C Web 会議 出席：7名、欠席：0名	1. 両学部で受講できる教養教育について-2 2. その他	
令和2年2月5日(水) 16:00～16:10 東黒牧C・呉羽C Web 会議 出席：6名、欠席：1名	1. 両学部で受講できる教養教育について-3 2. その他	

#### 【実績・評価】

1年間かけて両学部で受講可能な教養科目について検討してきた。現状では、①学生の移動の問題、②Web授業における設備の設定の問題、③授業時間の一致の問題等があり、実現するためにはこのような課題を解決する必要がある。しかしながら、現代社会学部で開講している英語以外の語学に関しては、こども育成学部の学生も関心がある旨の報告もあった。

#### 【課題】

- ① 両学部で受講可能な教養科目設置のメリットを学生の要望調査等を実施し、より明確にする。
- ② 2020年度前期に両学部で実施されているZOOM授業を活用して、両学部で受講できる教養科目の設置の可能性を探る。

### (3) FD推進部会

#### 【目標】

全国の学務系動向が理解できる研修会に参加し、その出張報告会を中心に全学的FD研修会を実施することで、全学的なFD活動への意識や成果を高める。

#### 【実施内容】

- ・構成メンバー：大藪教授（部会長）、大谷教授、高橋准教授、南呉羽キャンパス事務長、酒井教務課長、石黒係長
- ・会議内容

開催日時・場所・出欠	協議事項	備考
令和元年5月8日(水) 14:55～15:15 東黒牧C・呉羽C Web 会議 出席：6名 欠席：0名	1. 2019年度全学FD研修会について 2. その他	
令和元年8月7日(水) 14:55～15:10 東黒牧C・呉羽C Web 会議 出席：5名 欠席：1名	1. 2019年度全学FD研修会について 2. その他	
令和元年11月6日(水) 13:20～13:28 東黒牧C・呉羽C Web 会議 出席：6名 欠席：0名	1. 2019年度全学FD研修会について 2. その他	
令和2年2月5日(水) 16:10～16:17 東黒牧C・呉羽C Web 会議 出席：5名 欠席：1名	1. 2019年度全学FD研修会について 2. その他	

・研修内容

開催日時・場所・出欠	実施内容
令和2年2月26日(水) 13:30～15:00 東黒牧C 301 室 呉羽C E406 室 <b>【教員参加率：90.6%】</b> 教員出席：39名 欠席：4名 (現社：19名、子ども19名、 地域1名) 職員出席：16名 欠席4名	令和元(2019)年度 富山国際大学FD・SD 研修会 (1) 私立大学協会主催「教務部課長相当者研修会」報告について 全国の私立大学の動向について、私立大学協会の研修会報告を通じて情報共有する。 講師：子ども育成学部 准教授 松山 友之 氏 (2) ①東京都市大学ディプロマ・サプリメント等について ②Web シラバス入力注意点について ③出欠情報サブシステムについて 講師：①学務部長 大谷孝行、②教務課長 酒井 誠、 ③教務課主事 堀井 康弘

【評価】

本年度の研修会も、私立大学協会研修会主催「教務部課長相当者研修会」報告により全国の他大学等の動向、事例を踏まえ、今後の本学の教育改革にどう繋げ、どう実現すればよいかを考察する機会として、教職員間で情報共有を図ることができた。また、アセスメント・ポリシーについて他大学の事例も参考に、カリキュラム・ポリシー等の他のポリシーとの関係性について、理解を深めることができた。

【課題】

次年度についても、参加率を高める研修内容にしていく。なお、次年度は今年度の成果の上にならなくて、さらに特にアセスメント・ポリシーの設定等教育の評価に関する内容について共通理解と作業を進める必要がある。

(4) 教職課程委員会

【目標】

教育職員免許状取得の所要資格を得させるために必要な本学の教職課程の運営について審議し、教職課程の履修と実習実施に向けた資格ごとの計画立案・事前事後指導、及び履修科目の単位認定を円滑に実施させることを目標とする。今年度から、教職課程が運用されているが、今後も質の高い教員養成に向けて学生の学びの履歴と教育効果を注視していきたい。また、本委員会は全学学務委員会の下部組織として位置づけられている。

【実施内容】

・構成メンバー

仲井教授(委員長)、辻井教授、大藪教授、彼谷教授、福島教授、宮田教授、石倉准教授、河崎准教授、松山准教授、奥田講師、南呉羽キャンパス事務室事務長、酒井教務課長

・会議内容

開催日時・場所・出欠	協議事項	備考
令和元年9月17日(月) 10:00～11:00 呉羽キャンパス2階会議室 出席：7名、欠席：5名	1. 教職課程履修カルテの作成(更新)について 2. その他	

【評価】

令和元年度の小学校教員採用試験合格者については、50名(既卒者15名含む)となり現役合格率としては77.1%となった。また、公立小学校教諭の就職については、現役生で25名、既卒者6名となり、学部起ち上げから総計161名の教諭を送り出したことになる。

免許取得に関しては、小学校教諭一種免許状取得者70名、幼稚園教諭一種免許状取得者61名と、概ね取得希望者の希望に添った結果を得ることができた。

【課題】

令和元年度教職課程委員会の特徴的活動として、教職履修カルテの作成・更新が挙げられる。その外にはさしたる課題もなく委員会開催が少なかった感否めない。今後は、2～3か月に1度開催するなどの定例化を図り、教職履修カルテの電子化も検討することが必要である。

中期的な課題では、2023年度には、現在の保育士養成課程における科目を教職課程にかかる科目として位置づけることになる。そのため、それまでには、教科を担当する教員の実績が、確かなものである必要があり、周知を図っていかねばならない。

その他、小免許取得者はここ数年60名を超え今年70名を数えた。今後もこの傾向が続くことが予想される。しかし、進路は別にあるがとりあえず免許を取得しておこうという安易な考えの学生もいる。教員としての有資格者でありながら、資質、力量が不足している学生の増加が否定できない。

今後、小学校教諭養成に関しては模擬授業の形式や母校実習のあり方を、幼稚園・保育教諭養成も含めた課題としては、新たな実習協力校・認定こども園の開拓や継続的に教育実習の経験を蓄積できる体制づくりの必要性がさらに増している。教職履修カルテ等も活用しながら、質保証につながる工夫した指導を検討したい。養成から採用後の数年間、どのようにして教師力を向上させていくかが課題である。

## 2. 図書館委員会

### 【実施計画】

図書館委員会規程に基づき、重要案件を審議する。

### 【実施内容】

#### ・構成メンバー

佐藤館長、川本委員、一井委員、仲井委員、本江委員、大平委員、(学部学紀要委員) 高尾委員、パプリー委員、重本委員、川崎委員、(事務局) 酒井教務課長、石黒係長、市六主査

#### ・会議内容

開催日時・場所・出欠	協議・報告事項
令和元年5月10日(金) 9:00~10:00 東黒牧C・呉羽C Web会議 出席:11名 欠席:2名	第1回図書館委員会(全学委員、学部紀要委員) 1. 2019年度 図書館予算について 2. 2019年度 富山国際大学紀要について 3. 私立大学図書館協会 京都地区協議会 研究会の開催について 4. 委員会の役割分担について 5. その他
令和元年6月7日(金) 16:30~17:20 東黒牧C・呉羽C Web会議 出席:9名 欠席:1名	第2回図書館委員会(全学委員、重本学部委員) 1. 私立大学図書館協会 京都地区協議会 研究会について 2. 2019年度 富山国際大学紀要、投稿既定の作成について 3. その他
令和元年7月2日(火) 12:30~13:00 東黒牧C・呉羽C Web会議 出席:10名 欠席:0名	第3回図書館委員会(全学委員、重本学部委員) 1. 図書館のアクションプランについて 2. 富山国際大学紀要の規程について 3. 図書館の利用状況について 4. その他
令和元年8月6日(火) 12:30~12:55 東黒牧C・呉羽C Web会議 出席:10名 欠席:0名	第4回図書館委員会(全学委員、重本学部委員) 1. 2019年度 紀要第1号原稿の提出状況について 2. 私立大学図書館協会 京都地区協議会 研究会について 3. 2019年度 第1回 富山国際学園図書館間事務連絡会について 4. その他
令和元年9月4日(水) 10:00~10:30 東黒牧C・呉羽C Web会議 出席:7名 欠席:2名	第5回図書館委員会(全学委員) 1. 私立大学図書館協会 京都地区協議会 研究会について 2. 2019年度 富山国際大学紀要第1号の提出締め切りについて 3. その他
令和元年10月1日(火) 12:30~12:50 東黒牧C・呉羽C Web会議 出席:12名 欠席:1名	第6回図書館委員会(全学委員、学部紀要委員) 1. 2019年度 富山国際大学紀要第1号 原稿の提出状況と今後の発行スケジュールについて 2. その他
令和元年11月1日(金) 12:30~13:00 東黒牧C・呉羽C Web会議 出席:9名 欠席:0名	第7回図書館委員会(全学委員) 1. 私立大学図書館協会 京都地区協議会 研究会について 2. 2019年度図書館アクションプランについて 3. 図書館の利用状況について

	4. その他
令和元年12月2日(月) 15:00~16:00 東黒牧C・呉羽C Web会議 出席:8名 欠席:1名	第8回図書館委員会(全学委員) 1. 2020年度図書館予算について 2. 富山国際大学紀要第2号について 3. 図書館の利用促進について 4. ヨミダス歴史館(読売新聞記事データベース)のトライアルについて 5. その他
令和2年1月6日(月) 15:00~16:00 東黒牧C・呉羽C Web会議 出席:9名 欠席:0名	第9回図書館委員会(全学委員) 1. 2019年度図書館アクションプランの評価について 2. 電子書籍について 3. 学生の図書館利用促進のための取り組み案について 4. 図書館(東黒牧キャンパス)の利用状況について 5. その他
令和2年2月3日(月) 15:00~15:40 東黒牧C・呉羽C Web会議 出席:8名 欠席:1名	第10回図書館委員会(全学委員) 1. 2019年度富山国際大学紀要第2号について 2. 今後の図書館の活動計画について 3. 図書館利用促進のための取り組みについて 4. その他
令和2年3月5日(木) 16:00~16:30 東黒牧C・呉羽C Web会議 出席:9名 欠席:3名	第10回図書館委員会(全学委員、高尾、竹田学部紀要委員) 1. 2019年度富山国際大学紀要第2号提出原稿について 2. 2020年度予算について 3. 2020年度前期選定図書について 4. その他

#### 【評価】

本年度も紀要の作成にあたっては、図書館委員会と併せて紀要編集委員会を実施し、募集から試読、リバイス、編集、発行までの一連の作業を実施した。本年度は10月発行の第1号は、現代社会学部で論文4編、研究ノート1編、資料1編、子ども育成学部で論文1編、研究ノート2編、また3月発行の第2号は、現代社会学部で論文3編、研究ノート2編、子ども育成学部で論文6編が掲載された。

本学では、紀要に関する投稿既定がなかったため、「富山国際大学 執筆・投稿要領」を「投稿規定」と「レイアウト基準」に分けて新たに紀要投稿既定を作成した。

学生の図書館利用状況については、これまでにも行っていた月次集計を分析し、利用状況を調査した。現状のデータでは、誰が利用しているかはわからないので、電子学生証のデータを活用しさらに細かいデータを収集する必要がある。また電子書籍の導入や経済関連の検索範囲を拡大するなど、その充実化を図っている。2019年度は、「ヨミダス歴史館」をトライアルで活用した。また、新たな利用促進のための方策として、試験的に「Tuins Book Cafe」を1月23日(木)(担当:一井委員)、1月29日(水)(担当:川本委員)の両日実施した。

本学の図書館の日々の管理状況については、担当者の努力により問題なく運営されていると判断される。

また、2019年11月8日(金)に私立大学図書館協会 京都地区協議会 研究会(本学が主催校)を高志の国文学館が実施した。

#### 【課題】

紀要については、2019年度同様に、論文内の著作物の使用許諾確認方法などにつき、さらなる改善を目指すことが求められる。今後、委員会等において十分な議論を重ね、その結果を常に教員にフィードバックし、常に注意を喚起していくことが求められよう。

図書館の利用促進に関しては、①電子学生証を活用した詳細な利用データの収集、②Tuins Book Cafeの本格的運用、③学生による図書館サポータークラブの結成等を行い、教員と学生が一体となった利用促進を図ることを計画している。

最終的には、2021年度の新規事業としてラーニングcommonsの整備、雑誌コーナーのレイアウトの変更を検討し、予算化を2020年度に行う。

### 3. 情報センター運営委員会

#### 【実施計画】

情報センター規程に基づき、予算策定期間に、情報センター運営委員会を実施し、センター運営について協議する。

#### 【実施内容】

##### ・構成メンバー

上坂センター長、奥田講師、高尾准教授、堀江准教授、河野准教授、酒井教務課長、堀井教務課主査、宮森情報センター員

##### ・会議内容

開催日時・場所・出欠	協議事項
令和1年7月23日(火) 16:30～18:00 東黒牧キャンパス(421室) 呉羽キャンパス(会議室) 出席：7名 欠席：1名	1. 呉羽キャンパス ネットワーク接続問題 2. 2019年度特別事業（光専用線増速化）の実施 3. ウイルスバスターCorp. サーバ（DRACO）機器の不具合 4. メールへの添付ファイル容量の増加 5. ファイルサーバの空き容量減少に伴うアクセス遅延 6. Windows10 へのアップグレードサービスに関する連絡 7. 無線接続機器の増加に伴うWifi 環境 8. 運営委員からの報告・検討事項等
令和1年9月24日(火) 14:50～16:20 東黒牧キャンパス(421室) 呉羽キャンパス(会議室) 出席：7名 欠席：1名	1. ORION ファイルサーバ空き容量に関する作業報告 2. 令和1年度特別事業（光専用線増速化）の実施報告 3. Windows10 への移行状況 4. 共用コンピュータの入替・廃棄 5. サーバ機器等の入替 6. 学認クラウドサービス概要に関する報告 7. 子ども育成学部E館内の無線接続環境の向上 8. 出席管理の効率化 9. 運営委員からの報告・検討事項等
令和1年11月7日(木) 13:00～14:10 東黒牧キャンパス(421室) 呉羽キャンパス(E204室) 出席：8名 欠席：0名	1. 法定停電（9/19）に関する報告 2. 共有PC廃棄（10/4）に関する報告 3. ネットワーク機器入替（10/7）に関する報告 4. グループウェア（Office365 Education A1とGoogle G Suite Basic）の導入について 5. 運営委員からの報告・検討事項等
令和1年11月19日(火) 16:30～18:10 東黒牧キャンパス(421室) 呉羽キャンパス(会議室) 出席：8名 欠席：0名	1. 令和2年度運営事業 2. サーバ一式更新事業 3. L3スイッチ更新事業（新規運営事業） 4. ファイアウォール更新事業 5. 無線接続環境の向上に関する事業 6. Office365 アカウントに関する報告および検討事項 7. 業務用コンピュータのWindows10 移行状況 8. ウイルスバスターコーポレートバージョン使用に関する報告
令和1年12月24日(火) 15:00～16:30 東黒牧キャンパス(421室) 呉羽キャンパス(会議室) 出席：8名 欠席：0名	1. 呉羽キャンパスE館ネットワークエラーについて 2. 教職員用Windows7 コンピュータの使用停止 3. 東黒牧キャンパス 学生用共用コンピュータの利用方法の変更 4. ソフトウェアの貸出し規定について 5. 運営委員からの報告・検討事項等

#### 【評価】

サーバシステム、ネットワーク環境、プリンタ等の環境変化について討議し、従来の運用内容については情報センター担当業務を着実に果たし、問題なく運用されている事が確認された。

子ども育成学部の「情報処理演習」授業担当教員が非常勤講師となったことに対する、学生へのサポート低下に対しても、呉羽事務室と連携し、予約による出張サポートを、急を要する場合は、電話やメールによるサポートを実施している。

**【課題】**

学内でのノートPCのみならず、スマートフォンやタブレット等モバイル機器の増加する中、Wifi環境を一層充実していく必要がある。

**4. キャリア支援センター運営会議**

**【実施計画】**

キャリア支援センターに関する諸問題について検討することを目的とし、原則として毎月1回開催する。

**【実施内容】**

- ・構成メンバー：高橋センター長（現代社会学部）、彼谷センター次長（子ども育成学部）  
佐藤綾子委員（現代社会学部）、後藤委員（現代社会学部）、川本委員（現代社会学部）  
相山委員（子ども育成学部）、石倉委員（子ども育成学部）、川辺参事、岩木学生課長、  
鍋山主査、山田主査、  
長尾地の拠点事業推進室長（オブザーバー）、殿村地域連携アドバイザー（オブザーバー）

・会議内容

開催日時・場所・出欠	協議事項
平成31年4月23日(火) 12:20～12:50 東黒牧C・呉羽C Web 会議 出席：11名 欠席：2名	議事 (1) 審議事項 ① 2019年度 富山国際大学 企業・事業所・大学講演会について ② 2019年度 合同企業訪問について ③ 大学ホームページの更新について ④ COC+との協力体制について ⑤その他 (2) 報告事項 ① 就職状況について ② 2019年度 インターンシップ説明会について ③ 2018年度卒業生進路状況冊子の作成について ④ その他 ・ 現代社会学部キャリア支援委員会について ・ 子ども育成学部キャリア支援委員会について (3) その他
令和元年5月28日(火) 12:25～12:55 東黒牧C・呉羽C Web 会議 出席：12名 欠席：1名	議事 (1) 審議事項 ① 2019年度 富山国際大学 企業・事業所・大学講演会について ②その他 (2) 報告事項 ① 就職状況について ② 2019年度 インターンシップ説明会について ③ 2018年度卒業生進路状況冊子の作成について ④ その他 ・ 現代社会学部キャリア支援委員会について ・ 子ども育成学部キャリア支援委員会について (3) その他
令和元年6月25日(火) 12:25～12:50 東黒牧C・呉羽C Web 会議 出席：12名 欠席：1名	議事 (1) 審議事項 ① 大学コンソーシアム富山 合同企業訪問について ② 「2020年度採用のための大学案内」の作成について ③その他 (2) 報告事項 ① 2019年度就職内定状況について

	<p>② その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現代社会学部キャリア支援委員について</li> <li>・ 子ども育成学部キャリア支援委員会について</li> </ul> <p>(3) その他</p>
<p>令和元年7月23日(火)</p> <p>12:25～13:00</p> <p>東黒牧C・呉羽C Web 会議</p> <p>出席：11名 欠席：2名</p>	<p>議事</p> <p>(1) 審議事項</p> <p>① 「2020年度採用のための大学案内」の作成について</p> <p>② 「就職活動に向けた企業研究会 (OB/OG 交流会)」について</p> <p>③ その他</p> <p>(2) 報告事項</p> <p>① 2019年度就職内定状況について</p> <p>② 夏休み期間中の就職関連イベントについて</p> <p>③ 夏休み期間中の就職関連イベントについて</p> <p>④ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現代社会学部キャリア支援委員について</li> <li>・ 子ども育成学部キャリア支援委員会について</li> </ul> <p>(3) その他</p>
<p>令和元年9月24日(火)</p> <p>13:00～14:00</p> <p>東黒牧C・呉羽C Web 会議</p> <p>出席：9名 欠席：4名</p>	<p>議事</p> <p>(1) 審議事項</p> <p>① 2021年卒業生対象 学内合同企業説明会の日程調整</p> <p>② その他</p> <p>(2) 報告事項</p> <p>① 2019年度就職内定状況について</p> <p>② 「2020年度採用のための大学案内」の作成について</p> <p>③ 2019年度 富山国際大学 企業・事業所・大学講演会について</p> <p>④ 後期以降の関連イベントについて</p> <p>⑤ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現代社会学部キャリア支援委員について</li> <li>・ 子ども育成学部キャリア支援委員会について</li> </ul> <p>(3) その他</p>
<p>令和元年10月29日(火)</p> <p>12:25～13:00</p> <p>東黒牧C・呉羽C Web 会議</p> <p>出席：11名 欠席：2名</p>	<p>議事</p> <p>(1) 審議事項</p> <p>① 2019年度 学内合同企業説明会日程</p> <p>② 2019年度 富山国際大学 企業・事業所・大学講演会役割分担</p> <p>③ 2019年度 COC+事業「一般企業対象就職説明会」の実施について</p> <p>④ 2020年 Winter 業界研究会 - 学内 - の提案について</p> <p>⑤ その他</p> <p>(2) 報告事項</p> <p>① 2019年度就職内定状況について</p> <p>② 「2020年度採用のための大学案内」の作成について</p> <p>③ 後期以降の関連イベントについて</p> <p>④ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現代社会学部キャリア支援委員について</li> <li>・ 子ども育成学部キャリア支援委員会について</li> </ul> <p>(3) その他</p>
<p>令和元年11月26日(火)</p> <p>12:25～13:00</p> <p>東黒牧C・呉羽C Web 会議</p> <p>出席：13名 欠席：0名</p>	<p>議事</p> <p>(1) 審議事項</p> <p>① 「2019(令和元)年度 企業・事業所・大学講演会」について</p> <p>② 「2020(令和2)年度キャリア支援センター予算(予算請求)」について</p> <p>③ 2019年度 COC+事業「一般企業対象就職説明会」の実施について</p> <p>④ その他</p> <p>(2) 報告事項</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 2019 年度就職内定状況について</li> <li>② 「2020 年度採用のための大学案内」 について</li> <li>③ 2021 年 3 月卒業生(3 年生) 対象就職活動関連イベントについて</li> <li>④ その他</li> <li>・ 現代社会学部キャリア支援委員について</li> <li>・ 子ども育成学部キャリア支援委員会について</li> <li>(3) その他</li> </ul>
<p>令和元年 12 月 24 日(火)</p> <p>12:25～13:00</p> <p>東黒牧 C・呉羽 C Web 会議</p> <p>出席：12 名 欠席：1 名</p>	<p>議事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 大学コンソーシアム富山 合同企業訪問について</li> <li>② 「2020 年度 キャリア支援センター予算(予算請求)」 について</li> <li>③ 「2019 年度 学内企業研究会」 の申込状況について</li> <li>④ 2019 年度就職内定状況について</li> <li>⑤ 2021 年 3 月卒業生(3 年生) 対象就職活動関連イベントについて(再確認)</li> <li>⑥ その他</li> <li>・ 現代社会学部キャリア支援委員について</li> <li>・ 子ども育成学部キャリア支援委員会について</li> </ul>
<p>令和 2 年 1 月 28 日(火)</p> <p>12:25～13:00</p> <p>東黒牧 C・呉羽 C Web 会議</p> <p>出席：12 名 欠席：1 名</p>	<p>議事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 審議事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 2019 年度 「学内合同企業説明会」 について</li> <li>② 2020 年度 企業・事業所・大学講演会講師選定について</li> <li>③ その他</li> </ul> </li> <li>(2) 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 2019 年度就職内定状況について</li> <li>② 2019 年度 COC 事業「一般企業対象就職説明会」 の実施報告について</li> <li>③ 2021 年 3 月卒業生(3 年生) 対象就職活動関連イベントについて</li> <li>④ 2020 年 2 月 21 日開催 ALL 富山 COC+シンポジウムの開催について</li> <li>⑤ その他</li> <li>・ 現代社会学部キャリア支援委員について</li> <li>・ 子ども育成学部キャリア支援委員会について</li> </ul> </li> <li>(3) その他</li> </ul>
<p>令和 2 年 2 月 26 日(水)</p> <p>15:30～16:40</p> <p>東黒牧 C・呉羽 C Web 会議</p> <p>出席：11 名 欠席：2 名</p>	<p>議事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 審議事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 就職活動時における証明書の発行について</li> <li>② 2020(令和 2)年度インターンシップについて</li> <li>③ その他</li> </ul> </li> <li>(2) 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 2019(令和元)年度学内企業研究会の実施報告について</li> <li>② ALL 富山 COC+シンポジウムの実施報告について</li> <li>③ 2021 年 3 月卒業生(3 年生) 対象就職活動関連イベントについて</li> <li>④ 2019 年度 就職内定状況について</li> <li>⑤ その他</li> <li>・ 現代社会学部キャリア支援委員について</li> <li>・ 子ども育成学部キャリア支援委員会について</li> </ul> </li> <li>(3) その他</li> </ul>
<p>令和 2 年 3 月 17 日(火)</p> <p>15:00～15:40</p> <p>東黒牧 C・呉羽 C Web 会議</p> <p>出席：10 名 欠席：3 名</p>	<p>議事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 審議事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 地元定着率向上対策部会 (COC+) について</li> <li>② その他</li> </ul> </li> <li>(2) 報告事項</li> </ul>

	① 2020(令和2)年度インターンシップについて (前回議題の結果) ② 2019年度就職内定状況について ③ 2021年3月卒業生(3年生)対象就職活動関連イベントについて ④ その他 ・ 現代社会学部キャリア支援委員について ・ 子ども育成学部キャリア支援委員会について (3) その他
--	--

【評価】

例年通り WEB によるオンライン会議を開催し、順調に審議が行なわれた。基本月1回のペースであるが、夏休み期間を除く年間11回の会議で、円滑にセンター運営ができた。また、会議時間の短縮化を図り、長くても1時間以内で会議が終了した。

【課題】

キャリア支援センター運営会議の開催日程が、各委員の授業日程の関係で調整が困難であり、昼休みの時間を利用した結果、会議時間が短く進行が大変スムーズであった。ただし、今後、時間を要する審議事項が生じた場合、日程調整は時間割に左右されることとなる。

### 5-1. 国際交流センター運営会議

【目標】

本学の国際交流に関する事項について、教職員による協議を行う。

【実施内容】

・ 構成メンバー

才田国際交流センター長、福島国際交流センター次長、湯教授、渡部教授、パプリー准教授、M.フランク准教授、重本講師、金子講師、顔景義 (オブザーバー)

事務 岩木・吉村・船木

・ 会議内容

開催日時・場所・出欠	協議事項
平成31年4月18日 (木) 16:30~18:30 東黒牧C大会議室 出席：9名 欠席：2名	審議事項 1. 私費留学生の授業料減免規程に基づく審査について 2. 平成31年度の奨学金受給者の推薦について。 富山県    3人~4人    50,000円 文部科学省 1人        48,000円 朝日印刷    5人        35,000円 3. 5月のTOEIC IPテスト確認について 4. 今年度の予定と役割分担について ・活動年報 (福島・船木・才田) ・危機管理マニュアル (才田、重本、渡部) ・HP (パプリー、フランク、船木、湯) 5. 危機管理マニュアルについて 6. ミズーリ州立大学からの訪問について ・双方の学校紹介、調印式、英語専攻授業参観 7. 議事録順番について 議事録順番 福島→金子→渡部→重本→船木→才田→湯→フランク→パプリー 8. その他 報告事項 1. 公益財団法人朝日国際教育財団 平成31年度特別奨学生募集について 2. 交換留学生帰国について 張 澤 2月中に帰国 3. 遼寧省大学関係者来県 富大での学校説明会・学校見学について 4. 子ども育成学部での留学生受入に関する検討について 5. その他
令和元年5月23日(木)	審議事項

<p>12:20～13:00 東黒牧C大会議室 出席：11名 欠席：0名</p>	<p>1. 2018年度国際交流センター年報について Z:\Ytuins-share\国際交流センター\44.年報\年報(2018) ファイル名：国際交流年報(2018)第1稿190513</p> <p>2. イングリッシュキャンプ2019について</p> <p>3. その他 報告事項</p> <p>1. 「留学先の安全情報の確認」について 現在、本学の提携校となっているウクライナとフィリピンの大学に関して、国内での危険情報【危険レベル】の指定が出ている。 外務省海外安全ホームページ <a href="https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsbothazardinfo_182.html#ad-image-0">https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsbothazardinfo_182.html#ad-image-0</a> <a href="https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsbothazardinfo_182.html#ad-image-0">https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsbothazardinfo_182.html#ad-image-0</a></p> <p>2. TOEIC IP テスト受講者について 6月15日(土) 13:00～16:00 東黒牧C 4号館で実施 ※変更「試験会場401号室」を「試験会場441号室か大講義I」に変更 現代社会学 44人 子ども育成学部 25人 計69人 (5月20日現在)</p> <p>3. ミズーリ州立大学からの訪問について 5月16日(木)に双方の学校紹介、調印式締結実施、英語専攻授業参観</p> <p>4. 身近にある世界遺産——合掌の里への見学 6月1日(土)白川郷見学(湯教授・福島教授・顔先生・岩木)</p> <p>5. 平成31年度の奨学金受給者数・決定について ①富山県 3人～4人 月50,000円 3人に決定 ②朝日国際教育財団 特別奨学生(月10万円) 1名決定</p> <p>6. その他</p>
<p>令和元年6月20日(木) 12:20～13:00 東黒牧C大会議室 出席：10名 欠席：1名</p>	<p>審議事項</p> <p>1. 危機管理セミナーについて</p> <p>2. English Camp 2019について</p> <p>3. その他 報告事項</p> <p>1. 6月20日(木)15時30分 富山国際学園国際化推進会議開催 富山国際学園国際化推進運営委員会開催</p> <p>2. 後期留学予定者の手続きの進捗状況について</p> <p>3. その他</p>
<p>令和元年7月18日(木) 12:20～13:00 東黒牧C大会議室 出席：10名 欠席：1名</p>	<p>審議事項</p> <p>1. 危機管理マニュアルについて</p> <p>2. アイベック奨学金について</p> <p>3. その他 報告事項</p> <p>1. TOEIC IP 補助対象者について</p> <p>2. インターナショナルプログラムズ (長期：アメリカ・イギリス・カナダ・フランス)について</p> <p>3. TUINS English Camp (11-12 August 2019)について</p> <p>4. その他</p>
<p>令和元年9月19日(木) 10:00～12:45 東黒牧C大会議室 出席：9名 欠席：2名</p>	<p>審議事項</p> <p>1. 富山国際大学の留学生との交流について(片山学園中学校からの依頼)</p> <p>2. 国際交流フェスティバル2019実施について(令和元年11月10日(日)実施)</p> <p>3. 後期オリエンテーション→27日の担当者、留学・海外研修オリエンテーションに日時と方法</p>

	<p>4. マレーシア・サバ州公園管理局との学生実習受け入れ協定について (富山国際学園としての協定)</p> <p>5. その他 NPO ハンガーゼロとの協定</p> <p>報告事項</p> <p>1. 2020 年度海外留学支援制度 (協定派遣) 募集について</p> <p>2. 「瀋陽師範大学と富山国際大学との教育・学術交流協定」の締結について</p> <p>3. 海外留学している学生の現状報告</p> <p>4. 「英語で行う授業概要」 (カナダ・アメリカからの交換留学生受け入れ促進にむけて)</p> <p>5. その他</p> <p>報告事項</p> <p>1. 2020 年度海外留学支援制度 (協定派遣) 募集について</p> <p>2. 「瀋陽師範大学と富山国際大学との教育・学術交流協定」の締結について</p> <p>3. 海外留学している学生の現状報告</p> <p>4. 「英語で行う授業概要」 (カナダ・アメリカからの交換留学生受け入れ促進にむけて)</p> <p>5. その他</p>
<p>令和元年 10 月 24 日 (木) 12:20～13:00 東黒牧 C 大会議室 出席：11 名 欠席：0 名</p>	<p>審議事項</p> <p>1. 新プログラム作成の場合、国際交流センターの関わり方について</p> <p>2. 宇奈月観光モニターツアーについて 15 人～20 人(1 泊) 大学のマイクロバスで送り迎え ※日程は 2 班に分けても よい ただし、意見交換会(親睦会)に出席できる事が条件</p> <p>3. 令和 2 年度国際交流センター予算について</p> <p>4. その他</p> <p>報告事項</p> <p>1. 留学生異文化研修(in 黒部)について 実施日：2019 年 11 月 4 日 (月曜日) 8:00 ～ 16:30 場 所：黒部市、電気博物館、黒部峡谷(樺平)など 対象学生：現代社会学部在籍の留学生(学部生、交換留学生) 24 人 引率者：湯麗敏 渡部恵子 岩木課長(運転) 3 人</p> <p>2. 国際交流フェスティバルについて 実施日：2019 年 11 月 10 日 (日曜日) 10:30 ～ 16:30 場 所：富山駅、CIC ビル 担当教員：福島国際交流センター次長 「私の異文化体験と英語講座市民受講生による発表」</p> <p>3. Jasso 申請プログラムについて 申請したプログラム ①カナダで学ぶ子ども達への教育と福祉 ②KINABALU ECOLINC PROJECT 協働支援プログラム ③韓国での地域課題解決基盤創造キャンプ ④地域のグローバル化を担う海外インターンシップ</p> <p>4. その他</p>
<p>令和元年 11 月 28 日 (木) 12:20～13:00 東黒牧 C 大会議室 出席：10 名 欠席：1 名</p>	<p>審議事項</p> <p>1. Lethbridge 大学との交換留学協定について</p> <p>2. 交換留学生受け入れ人数制限についての検討</p> <p>3. 令和 2 年度予算要求について</p> <p>4. その他</p> <p>報告事項</p> <p>1. 富山国際大学留学生による宇奈月地区調査研修について</p>

	<p>実施日 令和元年11月21日(木)・22日(金)  参加人数 12人(21人応募→黒部市で選定)</p> <p>2. TOEIC IPテスト受験状況について  実施日 令和元年11月30日(土) 13時から16時  会場 呉羽キャンパスE館 406号室  受験者数 10人</p> <p>3. 2019年度海外留学支援制度(協定派遣)採択辞退について  プログラム japan`s bridge across Oxbridge 奨学金割当人数14人  配分額980,000円  辞退理由 本プログラム実施要件を満たす学生数の応募がなかったため</p> <p>4. その他  留学生アパートへのアルバイト斡旋来訪者について報告</p>
<p>令和元年12月5日(木)  16:20~18:00  東黒牧C大会議室  出席:11名  欠席:0名</p>	<p>審議事項</p> <p>1. Lethbridge大学との交換留学協定について  2. 交換留学生受け入れ人数制限についての検討  3. 令和2年予算要求について  4. その他</p> <p>報告事項</p> <p>1. 富山国際大学留学生による宇奈月地区調査研修について  実施日 令和元年11月21日(木)・22日(金)  参加人数 12人(21人応募→黒部市で選定)</p> <p>2. TOEIC IPテスト受験状況について  実施日 令和元年11月30日(土) 13時から16時  会場 呉羽キャンパスE館 406号室  受験者数 10人</p> <p>3. 2019年度海外留学支援制度(協定派遣)採択辞退について  プログラム japan`s bridge across Oxbridge 奨学金割当人数14人  配分額980,000円  辞退理由 本プログラム実施要件を満たす学生数の応募がなかったため</p> <p>4. その他  留学生アパートへのアルバイト斡旋来訪者について報告</p>
<p>令和2年1月30日(木)  12:15~13:00  東黒牧C大会議室  出席:11名  欠席:0名</p>	<p>審議事項</p> <p>1. TOEIC IP 補助対象者について  2. 新型コロナウイルスに関する対応について  3. その他  「日本語プレースメントテスト」の日程と実施教員につて</p> <p>報告事項</p> <p>1. 2020年度 Jasso 奨学金採否結果について  KINABALU ECOLINC PROJECT 協働支援プログラム 採択  韓国での地域課題解決基盤創造キャンプ 採択  地域のグローバル化を担う海外インターンシップ 採択  カナダで学ぶ子ども達への教育と福祉 採択(追加採択待ちA)</p> <p>2. 2019年度海外留学・研修参加者数及び外国人留学生入学者数について  3. 海外留学・研修に関するアンケート結果について  4. 協定校連絡先&amp;2020春手続き状況について  5. その他</p>

令和2年2月27日(水) 13:00～14:00 東黒牧C大会議室 (Web) 呉羽C 会議室 (Web) 出席：11名 欠席：0名	審議事項 1. 日本国際飢餓対策機構との包括協定について 2. 新型コロナウイルス肺炎に関する対応について 3. 現社・新入生オリエンテーションについて 4. 30周年記念事業について 5. その他
令和2年3月19日(木) 10:00～11:30 東黒牧C 大会議室 出席：8名 欠席：3名	1. 30周年記念事業について 2. 2020年度国際交流センター役割分担について 3. 2020年度行事スケジュールについて 4. ロシア留学生の来日について 5. その他

**【評価】**

2019年度は国際交流に関する危機管理元年と位置付け、危機管理マニュアルの作成と危機管理セミナー開催を行い、全学的に意識の醸成を図った。そのことが年度末に発生した新型コロナウイルス肺炎の流行拡大で活かされた。国際交流を進めてうえで様々な危機が起こりうる。今後、様々な有事を想定した危機対応力をつけていく必要がある。

**【今後の課題】**

- ・外国人留学生（正規生）の減少
- ・チェルネットの効果的利用方法の検討と学生への勧め
- ・留学成果の検証と留学前後の教育改善の検討
- ・海外研修の評価

**5-2. 国際化推進委員会会議**

**【実施計画】**

富山国際大学の国際化を推進することを目的とし、富山国際大学国際化推進委員会を原則2か月に一度開催する。

**【実施内容】**

- ・構成メンバー：中島学長、高木学事顧問、尾畑現代社会学部長、辻井子ども育成学部長、宮田学長室長、大谷学務部長、才田国際交流センター長、福島国際交流センター次長、渡部教授、中島事務部長、岩木学生課長
- ・会議内容

開催日時・場所・出欠	議題事項										
2019年6月5日(水) 16:30～17:30 東黒牧C大会議室(Web) 呉羽C会議室(Web) 出席：11名 欠席：0名	議題 1. 2018年度国際交流活動年報について 2. その他										
2019年7月24日(水) 16:00～16:55 東黒牧C大会議室 出席：10名 欠席：1名	議題 1. 危機管理マニュアルについて 2. その他										
2019年9月25日(水) 16:00～16:55 東黒牧C大会議室 出席：10名 欠席：1名	議題 1. 編入生安定的確保に向けた、ダブルディグリー新規協定校案 1) 瀋陽師範大学 2) 遼寧師範大学 データ：過去5年間の編入学数 <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>2015</td> <td>2016</td> <td>2017</td> <td>2018</td> <td>2019</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>2</td> <td>6</td> </tr> </table> 2. 学生実習受け入れに関するマレーシア・サバ州公園局と富山国際学園の覚書 報告事項	2015	2016	2017	2018	2019	1	9	9	2	6
2015	2016	2017	2018	2019							
1	9	9	2	6							

	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英語圏からの交換留学生受け入れに向けて</li> <li>2. 前期海外派遣学生数（留学7名、研修24名） <ul style="list-style-type: none"> <li>• 海外留学：アメリカ2、カナダ3 イギリス1、フランス1</li> <li>• 異文化研修（中国）7</li> <li>• 異文化研修（マルタ）8、</li> <li>• グローバルキャンパス（デンマーク）7、</li> <li>• イギリス建築史研修 7</li> <li>• 海外インターンシップ（ベトナム）2</li> </ul> </li> <li>3. 後期開講予定の海外研修プログラム <ul style="list-style-type: none"> <li>• 異文化研修・韓国※</li> <li>• 異文化研修・カナダ</li> <li>• 国際交流実習・マレーシア※</li> <li>• グローバスキャンパス（経情・イギリス※、観光・オーストラリア）</li> <li>• 海外インターンシップ（ベトナム※、カナダ）</li> </ul> <p>※は Jasso 奨学金対象プログラム</p> </li> </ol>
2019年11月27日(水) 16:00～16:55 東黒牧C大会議室 出席：10名 欠席：1名	<b>議題</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Lethbridge 大学との交換留学協定について</li> <li>2. その他</li> </ol> <b>報告事項</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 交換留学生受け入れ人数制限についての検討</li> </ol>
2020年1月22日(水) 15:30～16:15 東黒牧C 大会議室(Web) 呉羽C 会議室 (Web) 出席：10名 欠席1名	<b>議題</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2020年度 Jasso 奨学金採否結果</li> <li>2. 2019年度海外派遣学生数及び外国人留学生受け入れ数</li> <li>3. その他</li> </ol>
2020年3月26日(水) 13:10～14:00 東黒牧C大会議室(Web) 呉羽C 会議室 (Web) 出席：9名 欠席3名	<b>議題</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 海外派遣日本人学生の動向について</li> <li>2. 令和2年度入学予定の外国人留学生について</li> <li>3. その他</li> </ol>

#### 【評価】

定例会議は2カ月に1回開催され、状況報告と今後の方針等についての審議が行われた。決められた事柄について、国際交流センターが実施を行った。国際交流に関する事項が全学的な意思統一の下で実施された。この組織的な取り組みが重要な位置を占めている。

#### 【課題】

大学の国際化推進会議とは別に、学園としての国際化推進会議も組織化された。今後、これを活かした国際交流の高大連携を実現し、海外留学や国際交流に興味のある学生確保に結び付ける必要がある。

### Ⅲ. 業務運営状況（評価・課題）

#### 1. 教務課業務（特記事項）

##### ・教育課程並びに履修に関すること

###### 【実施計画・内容】

教学部門の根幹業務に関わる、学則・カリキュラム整備、学生便覧・講義要綱の作成、履修登録と出欠管理について、学生サービスへのサービス低下につながらないよう、学生に常にわかりやすくバックアップできるよう改善しながら業務遂行していく。

また、令和元年度も両学部のカリキュラム実施のフォロー、副専攻プログラムの運用に伴うアフターフォロー、及び退学勧告等の具体的な運用を行う。

###### 【評価・課題】

令和元年度は、現代社会学部にあつては昨年度改定された「情報教育」に力点をおくカリキュラムを運用しはじめ、改定された子ども育成学部にあつては教職課程再課程認定に伴うカリキュラムが進行しはじめ、それぞれの学部の特性を念頭にフォローを行ってきた。

副専攻プログラムについては、修了予定対象者がグローバル人材育成プログラムでは3名、地域創生人材育成プログラムでは1名であった。グローバル人材育成プログラムと地域創生人材育成プログラムの両方を修了した者がいたことはフォローのし甲斐があった。

##### ・教務業務に関連すること

###### 【実施計画・内容】

###### ① 大学コンソーシアム富山（単位互換）について

富山県大学連携協議会を発展解消され、平成25年度より大学コンソーシアム富山が創設された。その下部組織である教育連携部会において、教務課として「単位互換」にかかる事業を展開する。

###### ② 公益財団法人富山県ひとつづくり財団助成金について

毎年、富山県外郭団体の標題財団が、県内の高等教育機関の教育研究活性化推進をすべく、一定の事業に助成支援をしており、その申請・実績報告業務を実施していく。

###### ③ 公益財団法人富山第一銀行奨学財団研究助成金について

毎年、富山第一銀行奨学財団より本学の研究に一部助成し、地域貢献を図っていることから、その申請・実績報告業務を実施していく。

###### ④ COC 事業に伴う業務について

本学が COC+事業の「地(知)の拠点大学」に認定され、「地域課題探求型学習を核としたとやま地域創生人材育成プログラム」に基づく地域志向科目選定等を実施し、事業推進を円滑に進める。

###### ⑤ 副専攻プログラムの運営について

平成29年度より在籍生から適用・運用していく副専攻プログラム（グローバル人材育成プログラム・地域創生人材育成プログラム）を軌道に乗せる。

###### 【評価・課題】

令和元年度は次のような評価と課題であった。

###### ① 大学コンソーシアム富山（単位互換）について

実施計画に基づき、9月2日から5日まで開講した大学コンソーシアム富山共同授業科目「とやま地域学」に155名が受講した（本学学生は32名）。富山県に関する様々な情報を、富山県知事の講義と意見交換も交え、資料やデータなどから、日本や国際社会と比較し、富山の強み、問題点などの特色を知ること、そして21世紀の富山活性化策について考える4日間を計画どおり実施できた。

また、平成28年度から富山県環境政策課とのタイアップで、本年度は8月19日から22日まで開講した「環境経済学」には、23名（本学学生は5名）が受講した。富山県の「環境」にかかる取組を、各関係部署から講義していただき、最終日に富山市内の小水力発電所などを見学した。

また、他の単位互換科目では、富山大学が開講した「地域ライフプラン」に6名の受講実績があった。

###### ② 公益財団法人富山県ひとつづくり財団助成金について

令和元年度は次のような実績となった。

公益財団法人富山県ひとつくり財団高等教育振興事業一覧

<令和元(2019)年度>

助成事業種別	学部・部署	研究課題名	助成額
2号 (シンポジウムの開催に対する助成)	国際交流センター	富山国際大学30周年記念プレイベント・海外遠征における危機管理セミナー	100,000
2号 (シンポジウムの開催に対する助成)	現代社会学部	北陸新幹線開通後の効果と富山県の観光・魅力創造	300,000
2号 (シンポジウムの開催に対する助成)	子ども育成学部	富山国際大学子ども育成学部創立10周年記念フォーラム	300,000
5号 ア (学生確保推進支援事業)	入試広報課	平成31(2019)年度 富山国際大学学生募集確保事業	1,000,000
	キャリア支援センター	富山国際大学就職促進事業(学生確保支援事業)	500,000
5号 イ (大学活性化支援事業)	地域交流センター	学校法人富山国際学園 富山国際大学エクステンション・カレッジ特別講演	500,000
計			2,790,000

③ 公益財団法人富山第一銀行奨学財団研究助成金について

令和元年度は次のような実績となった。

公益財団法人富山第一銀行奨学財団研究助成金 実績一覧

<令和元(2019)年度>

資金種別	学部	職名	氏名 (研究代表者)	研究課題名	実績額
高等教育機関の 研究活動の助成	現代社会学部	准教授	高橋 ゆかり	環境保全意識の醸成のための環境教育プログラム開発のための基礎調査	800,000
		准教授	Boedan Pavliy	ロシア語圏との交流のための社会的言語研究	500,000
	子ども育成学部	教授	辻井 満雄	小学校教育におけるキャリア教育の展開 ～6年間を見通した計画の在り方～	800,000
		准教授	川崎 美香	富山県内における知的障害特別支援学校と放課後等デイサービスの連携の 在り方	500,000
計					2,200,000

④ COC 事業に伴う業務について

平成 29 年度から本学独自の副専攻プログラム「地域創生人材育成プログラム」を運用しており、その業務と並行して本年度の事業を把握した。

⑤ 副専攻プログラムの運営について

令和元年度は2つの副専攻プログラム(グローバル人材育成プログラム・地域創生人材育成プログラム)で、グローバル人材育成プログラム3名、地域創生人材育成プログラム1名修了者を認定し、学位記授与式で修了証を手渡した。

なお、本年度の新たな申請者数は次のとおりであった。

グローバル人材育成プログラム 5名(現代社会学部2名・子ども育成学部3名)

地域創生人材育成プログラム 7名(現代社会学部4名・子ども育成学部3名)

次年度も申請数を増やすことができるよう魅力を伝えていく必要がある。

2. 図書館業務(特記事項)

【概要】

図書館利用については、推薦図書のお知らせの工夫として図書館利用について教員との連携や、オリエンテーションなどでの告知、館内のディスプレイや掲示を工夫し、昨年に引き続き図書館の利用促進を図った。ゼミ単位での図書館利用の促進効果もあり、東黒牧図書館における図書貸し出し数は30年度の1,377冊/年から1,491冊/年に増進し、貸出者総数は30年度の743名に対して838名と増加、入館者数も30年度の12,243名から13,216名と増加した。

・紀要に関すること

【実施計画・内容】

昨年度に引き続き2019年度も紀要編集専門委員会委員が分担して原稿のチェックを行い、コメントを作成して提出者に配付する作業を行う。またコピペルナーを使用し、提出原稿の知的財産権違反(盗用)チェックを行う。

【評価・課題】

今年度も委員会委員で提出原稿のチェックを行った。チェックプロセスも取り執筆者、委員ともに作業はスムーズに実施でき、委員のチェック内容も単なるケアレスミスや体裁の点検のみならず、論文としての質や表現方

法へのコメントにまでに及び、紀要全体としては質が向上した。また、本学では、紀要に関する投稿既定がなかったため、「富山国際大学 執筆・投稿要領」を「投稿規定」と「レイアウト基準」に分けて新たに紀要投稿既定を作成した。

#### ・図書館関連運営に関すること

##### 【実施計画・内容】

平成 31 年度予算案策定に向けては、加盟している京都地区図書館協議会の次年度研究部会の主担当校となったため、その業務に必要な経費を収支（別枠）で計上し実施すること、「日経 BP 記事検索サービス」提供の再開、図書館システム更新検討に向け大学・短大の連携について話し合いを持ちながら、更なるシステム活用を検討する。

また、相互図書館書架の閲覧頻度の低い書籍の別室へのアーカイブも必要な事業と位置づけ、これをもって教育環境改善につなげることをとする。

##### 【評価・課題】

京都地区図書館協議会の研究会は、事業計画を本格化させ図書館委員、各外部講師、京都地区協議会加盟館役員の協力のもと、高志の国文学館にて実施した。

「日経 BP 記事検索サービス」提供を利用者の要望どおり再開した結果、上限利用本数を越える利用があり、総務課に相談し予算流用となり、年度内のデータベース利用提供を行った。

大学・短大との図書館システム更新については、次年度もメーカー側の提案にて当初の契約（5 年）経過後もサーバ利用が可能であり現図書館システムのバージョンアップ費用等を計上するに留まった。

図書館事務室に段ボール箱に保有されている退職教員の書籍などを事務室内に書架を設置し立体的に解り易く配置した。また、各研究室に保存されている退職教員の図書は、特定の別室に集約してアーカイブすることを課題とする。

### 3. 情報センター業務（特記事項）

#### ・ネットワーク・サーバシステム及び機器に関すること

##### 【実施計画・内容】

① 呉羽キャンパスにおいて、老朽化しているネットワーク機器の入替および無線 LAN 設備の交換を実施し、学内のネットワーク接続環境を向上・充実させた。

##### 【評価】

無線アクセスポイントは正常に運用されている。またファイルサーバシステムは問題なく運用されている。

##### 【課題】

第 1・2・3 コンピュータ室はノート PC 対応型に更新し、メディアコーナー配置の共用コンピュータを Windows10 へ入れ替えたが、今後のメディアコーナーでのコンピュータ利用について検討する必要がある。

ネットワーク機器・UPS 等の予期せぬ機器障害・故障によってネットワークサービスが劣化・停止する等の事態が起きていることから、不測の事態に備える必要がある。

情報センターが担当するハードウェアおよびソフトウェアの入替えや更新作業は、定期的に発生し、高額な支出を伴うことから、長期的な計画が必要となる。

### 4. 学生課業務（特記事項）

#### ・奨学金に関すること

富山国際大学奨学金、独立行政法人日本学生支援機構奨学金、富山第一銀行奨学財団奨学金、各県市町村関係の奨学金等の取り扱いをし、各奨学金の申請、継続、返還、異動の手続きや学習成績の報告を行う。

##### 【実施計画】

経済的に困難な状況にある学生の修学を支援するため、本学独自の各種奨学金制度がある。日本学生支援機構奨学金、地方公共団体・財団等の奨学金についても、学生および保護者からの相談に応じ、適切な助言、受給に向けた対応を行っている。本学独自の奨学金としては、経済的理由により学費等の納付が困難である者、成績優秀者、諸活動で成果を収めた者、海外留学者（半期）、外国人留学生を対象にした制度がある。奨励金制度は、学業成績または諸活動において前年度に著しく優秀な成果を収め、他の在学生の模範であると認められた 2 年次以上の学生に給付する制度である。

【実施内容】

富山国際大学奨学金

奨学種類		給付額	2019 予定人数	2019 実績人数	
(第1種) 在校生	経済的理由	1,030,000	1		
		515,000	3		
		490,000		1	
		465,500		1	
		325,000		1	
		275,000		1	
		183,000		2	
小計			4	6	
(第2種) 受験生	特別奨学生 選抜試験	600,000	4		
		300,000	4	3	
	小計			8	3
(第2種) 在校生	特別選抜 試験特待生	680,000	2	2	
		550,000	6	6	
		365,000	7	6	
		340,000	1	1	
		275,000	21	19	
小計			37	34	
(第2種) 受験生	諸活動 特待生	200,000 (入学金のみ)	10	10	
		300,000	6	6	
		200,000	7	7	
	小計			23	23
(第2種) 在校生	諸活動特待生	680,000	1	1	
		550,000	5	5	
		365,000	1	1	
		340,000	7	7	
		275,000	18	16	
		200,000	2		
小計			31	30	
(奨励金)	成績優秀者	100,000	6	5	
	諸活動優秀者	100,000	2	2	
	小計			8	7
	合計			111	103

日本学生支援機構等奨学金等

奨学財団名等		人 数	備 考
日本学生支援機構		307	第1種150人 第2種149人 給付8人
富山第一銀行		5	
富山県		0	
石川県		1	
各市町村		2	(富山市 1人、滑川市 1人)
交通遺児育英会		0	
あしなが育英会		0	
留学生	富山県	1	
	日本学生支援機構	1	
	朝日国際	6	

### 【評価と今後の課題】

近年、経済的な理由により学納金が支払えないとの相談が年々増加している傾向にある。大学の奨学金については、限られた予算の中で、一人でも多くの学生への支援と考え、給付金額を考えながら個別面談し対応している。また、オリエンテーション時に学生へ、大学以外の奨学金制度について情報提供を行っているが、今後は学生だけでなく保護者へもホームページ等を活用しながら情報提供を行い、相談しやすい体制を構築していく。

### ・夢への架け橋助成事業に関すること

夢への架け橋助成事業の募集告知、申請事業のヒアリング、学内審査会、助成金の交付、事業終了後の報告書管理を行う。

### 【実施計画】

募集期間：2019年4月1日(月)～5月8日(水)【必着】

#### 1 目的

この助成事業は、本学の学生の活力を生かすとともに、地域との連携を更に深め地域に貢献することにより、本学の活性化に資することを目的に、本学の学生から研究・活動等の事業計画を募集し、その事業の実施に対し本学が助成・支援を行う。

#### 2 助成対象事業

本学に在学する個人又はグループで積極的に研究・活動等を行うものとし、以下に掲げる事業とします。

- (1) 地域問題、国際問題に関する調査・研究事業
- (2) ベンチャー企業の創設に関する調査・研究事業
- (3) NPO活動事業
- (4) イベント計画・実施事業
- (5) ボランティア活動の計画・実施事業
- (6) 地域活性化の調査・研究又は事業の実施
- (7) 国際的文化交流に関する活動
- (8) 各種創作活動
- (9) その他本学の活性化に繋がると認められたもの

### 【実施内容】

2019年度 夢への架け橋助成事業申請

NO	事業
1	広域観光を推進するための「観光まちづくりプラン」の作成
2	高濃度CO2利用農法による甘い野菜づくりの実証
3	TUINS サッカー教室2019
4	わくわくボードゲーム ～みんなで一緒に lets think～
5	東黒牧活性化大作戦
6	科学実験教室・自然体験ボランティア活動
7	「ちょっこ おいでま こども食堂キャンパス “AAA <安心・安全・安定>” プロジェクト」
8	MJL ごと体験教室
9	限界集落支援事業
10	P.E.T.S. (Physical Education Technical Supports)
11	T.F.C.S. (Track & Field Club Team Support)

### 【評価と今後の課題】

以前は応募件数が少なかったが、昨年から15件と2桁の応募があり、令和元年度も11件の募集があった。ヒアリング審査会については、助言・指導教員のバックアップもあるが、年々、パワーポイントの充実によりプレゼン能力が上がり盛大に開催し、すべて採択され事業が行われた。限られた予算の中で助成金について、どのように配分するか。また、支出の考え方を統一するため、実施要項の見直しを図った。

### ・広報関係に関すること

年2回のコスモス通りの発行業務（内容案作成、原稿依頼、原稿収集、校正）を行う。

### 【実施計画】

- 80号 入学式(2019年4月3日(水))に新入生の保護者に配布  
2・3・4年生の保護者へは、後援会総会案内状に同封する
- 81号 2019年9月中旬 保護者へは前期成績表の発送時に同封する

【評価と今後の課題】

年2回発行し、記事内容については年間を通してより内容を検討して実施した。今年度の記事内容を踏まえて、検討していく。マンネリ化をしない様にしていく。

◆2019年度学生生活アンケート

【実施内容】

「令和元年度学生生活アンケート」の結果

後学期のオリエンテーション(9月末)以降に実施した「令和元年度学生生活アンケート」の目次の項目についてアンケート実施を行った。この結果を踏まえて、今後とも、学生の皆さんがより楽しく充実した大学生活を送れるよう、学習環境の改善に努めていきたいと考えている。

【評価と今後の課題】

データ分析をして、今後このデータを利用して学生生活の向上を図るため、毎年実施している。このデータを基に、改善していく。

◆学長賞等表彰について

【実施計画】

この一年間、本学の学生として著しく表彰に値する業績のあった者あるいは、文化、スポーツ、諸活動を通じ、特に優れた業績を修めた団体又は個人に対し、富山国際大学学則第38条及び同学生表彰要項に基づき表彰したいので、別紙様式により候補者の推薦をされるよう、関係者をお願いし実施する。

【実施内容】

下記の学生表彰候補者が提出され、2020年2月の学務委員会で審議し、2月の両教授会及び運営会議で審議し承認された。

学生表彰候補者一覧表

No	表彰規程	推薦賞名	個人・団体	所属
1	第2条2(1)ア	学長賞	団体	女子ハンドボール部
2	第2条2(1)イ	学長賞	個人	ボート部(女子)
3	第2条2(1)イ	学長賞	個人	ボート部(女子)
4	第2条2(1)イ	学長賞	個人	ボート部(女子)
5	第2条3(1)ア	学長賞	個人	陸上競技部(砲丸投げ)
6	第2条3(1)ウ	学長賞	個人	陸上競技部(長距離走)
7	第2条3(1)ア	学長功労賞	個人	学友会
8	第2条3(1)ア	学長功労賞	個人	クラブ会

※富山国際大学学生表彰規程細則に基づき学生表彰候補者が選出された。

【評価と今後の課題】

推薦書は8個人・団体から提出され表彰することとなった。新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、学位記授与式自体が縮小され、名前と業績の紹介のみとなった。学位記授与式の終了後、各学部の会場で学長賞・学長功労賞の表彰を改めて行った。

5. キャリア支援センター(特記事項)

・庶務業務に関すること

各種調査、卒業生進路状況作成、高校訪問資料作成(3回)、「採用のための大学案内」パンフレット作成、富山県財団法人ひとつくり財団助成、インターンシップ報告書作成、内定礼状作成・発送、年賀状作成・発送、卒業生アンケート調査、運営会議・教授会資料作成業務。

【実施計画】

- ①各種調査
- ②卒業生進路状況作成(800部作成予定)
- ③高校訪問資料作成(3回)
- ④「採用のための大学案内」パンフレット作成(3,000部作成予定)

- ⑤富山県財団法人ひとづくり財団助成事業
- ⑥インターンシップ報告書作成
- ⑦内定礼状作成
- ⑧年賀状作成
- ⑨運営会議・教授会資料作成業務、

#### 【実施内容】

##### ①各種調査

- ・卒業予定者の就職決定状況【富山公共職業安定所】 毎月、月末の内定状況をメールにて10日前後に報告
- ・新規大学等卒業者の求職・就職内定状況【富山県労働雇用課】
- ・学校基本調査(5/1付調査) 【文部科学省】卒業後の状況調査票(学部毎)  
2-1(状況別卒業生数、入学年度別卒業生数、男女別)2-2(職業別、産業別、男女別)
- ・学校法人基礎調査(5/1付調査)【日本私立学校振興】  
(進路別卒業生数、産業別就職者数、男女別)
- ・その他民間企業調査

##### ②卒業生進路状況作成

進路決定届の提出データを基に、4月30日付け進路状況を作成し、データを編集(学部別進路状況、職種別就職状況、業種別就職状況、所在地別就職状況、就職先一覧)して作成。

- ・配布先  
企業(企業・事業所・大学講演会)・入試広報課(高校訪問、高校教員説明会等)  
総務課(後援会理事会・総会、学園理事会等)

##### ③ 高校訪問資料作成(3回)

入試広報課より卒業生就職先データ作成依頼有り、過去2,3年間のデータを出身校別に作成。

##### ④「採用のための大学案内」パンフレット作成

「企業・事業所・大学講演会」(11月開催)の企業(人事担当者)に渡すため、それまでにパンフレットを納期させる。内容については、次年度の学生PR用として作成。

- ・キャリア支援センター長・次長・センター員で内容確認。
- ・業者選択をして見積・スケジュール計画依頼
- ・業者決定後、内容の打ち合わせをして骨格作成。
- ・キャリア支援センター運営会議で内容審議
- ・原稿依頼、データ作成・写真選択

##### ・配布先

企業(企業・事業所・大学講演会及び求人票に同封)  
入試広報課(高校訪問、高校教員説明会)  
総務課(後援会理事会・総会、役員会)

##### ⑤ 富山県財団法人ひとづくり財団助成、

- ・次年度の要望調書(就職推進事業)作成・提出 ※交付条件有
- ・交付申請書作成・提出  
県の様式に従って書類を作成  
学長までの伺書を作成し、承認後提出

※補助対象経費の支出は、交付決定のあった日以降からの支出になるので注意

- ・事業実績報告書作成・提出
- ・学長までの伺書を作成し、承認後提出
- ・「企業との事務書類手続き」  
依頼文の作成

エントリーシートの送付

「インターンシップの覚書」「同意書」「実習報告書」「実習内容報告書」の送付  
賠償責任促進手続き

##### ⑥ インターンシップ報告書作成、

キャリア支援センター運営会議で役割分担を決定後インターンシップ参加学生、受入企業よりデータを集めて、実施報告書を作成(・担当教員に業務依頼・挨拶文・インターンシップの概要・今年度を振り返って)

- ・上記以外のデータは事務方で作成  
学生の文章は誤字脱字が多く確認が必要。  
担当ゼミ教員には確認してもらっているが、事務方での修正が必要。
- ・データ作成・修正及び結合作成  
(はじめの挨拶、インターンシップ概要、目次、研修経緯一覧、受入先一覧、研修レポート、学生の成果、受入先アンケート結果、今年度の総括及び来年度に向けて、日報要約、インターンシップ実施要領)
- ・配布先  
教職員  
学生(学内発表会(3年)、インターンシップ受講の仕方)  
企業(受入先企業)  
総務課(後援会理事会・総会等)

⑦ 内定礼状作成

令和元年12月1日以降、内定した企業(確実に内定した企業へ行くことを確認した企業)に対して、随時令状を送付。

⑧ 年賀状作成、

令和元年度にインターンシップ協力企業・キャリア教育協力企業・「企業・事業所・大学講演会」の講師・参加企業、「学内合同企業説明会」参加企業に年賀状送付

⑨ 運営会議・教授会資料作成業務。

審議事項、報告事項に提出する資料をセンター長、課長に確認し2日前にデータを総務・教務課に提出する。

※内定状況資料は、最新の内定率に変更して提出

【評価と今後の課題】

期日厳守の作業が多く、作業工程及び役割分担の見直しが必要となっている。特に各種調査については、民間企業における調査が多く、内容は似ているが調査に時間が取られて、大学の業務に障害が起きないように、提出企業の見直しを図る。

・キャリア教育に関すること

【実施計画】

- ・現代社会学部におけるキャリア・デザイン講座a・b(1年次必修科目)、インターンシップ(全学年選択科目)、キャリア支援講座a・b(3年次必修科目)、就職試験対策講座の授業運営に関わる業務。
- ・尚、子ども育成学部では、キャリア入門講座(1年次)、キャリア支援講座I(2年次)、キャリア支援講座II(3年次)キャリア支援講座III(4年次)、実習、インターンシップ等を独自に実施している。

◆令和元年度 キャリア支援講座 アンケート集計

【評価と今後の課題】

- ・キャリア・デザイン講座aは、担当教員が毎年工夫(2年前から少人数・2クラスに分けて実施)をして内容変更しながら講座を組み立てている。bについては、COC+事業に関わる地域施行科目の1つとして、県内企業を中心に人事担当者を招聘して講義を担当いただき、経営理念や仕事内容・やり甲斐、そして、求める人材像等について、講演いただいている。次年度からは、COC+事業が終了することから、大学生活を通じたキャリアモデルを考えさせる授業展開を計画している。
- ・キャリア支援講座・子ども育成学部キャリア支援については、学生の授業態度や進路を参考に計画している。

・キャリア支援センター行事に関すること

【実施計画】

- ①「企業・事業所・大学講演会」の講師関連、発送先リスト作成、案内発送、会場準備、報告書作成等運営に関する業務。

「企業・事業所・大学講演会」

「令和元年度 富山国際大学 企業・事業所・大学講演会」次第  
開会の辞

日時：令和元年11月29日(金) 16:00～19:00

場所：富山電気ビルディング 5階 大ホール

(住所：富山市桜橋通り3-1 TEL：076-432-4111)

受付：15:20から（4階 瑞雲の間）

1. 【大学説明】（5階 大ホール）（16:00～16:20）

開会の辞

開会挨拶 学 長 高木 利久

大学及び就職支援紹介 キャリア支援センター長 高橋 哲郎

【休憩】

2. 【講演】（5階 大ホール）（16:30～17:45）

演 題：「今こそSDGsで企業価値をあげよう～SDGsの社内浸透99.6%はこう実現した～」

講 師：リコージャパン株式会社 太田 康子 氏

【休憩】

3. 【情報交換会】（5階 中ホール）（18:00～19:00）

開会挨拶兼乾杯 現代社会学部長 尾畑 納子

ご歓談・名刺交換

閉会挨拶 子ども育成学部長 辻井 満雄

以上

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
参加企業数	108	116	80	86
講演会参加人数	145	145	90	82
情報交換会参加人数	130	132	73	75

【評価と今後の課題】

今年度も昨年同様に、教職員合わせて200人近い参加があった。そこで、会場が手狭であったため、次年度は開催場所の見直しを図る。

- ②「学内企業研究会」の発送先リスト作成、案内発送、会場準備、参加学生への教育・指導、アンケート集計等運営に関する業務。

「学内企業研究会」

1. 目的：学生が「業界」や「業種」について研究し、企業の採用計画・採用試験日程などを採用担当から直接情報収集することで、以降の就職活動を円滑に行えるようにすることを目的とする。

2. 日時：令和元年2月14日（金）・18日（火）[2日間] 13:20～16:00（企業受付開始 12:30～）

3. 会場：富山国際大学 東黒牧キャンパス 厚生棟

4. 方式：ブース形式による説明（1回あたり20分間の説明を6ローテーション実施）

5. 対象者：令和3年3月卒業、4月就職希望者約100名（子ども育成学部一部含む）

6. 内容：① 開会挨拶（高木学長）

② 各ブースにて事業内容や採用計画についての説明を受ける（20分×6回）

③ 企業と教職員との情報交換（随時）

④ アンケート記入

⑤ 閉会挨拶（高橋キャリア支援センター長）

7. 学生への事前説明会

日時：令和元年1月22日（水）13:00

場所：大講義棟I

内容：企業研究、事前教育・諸注意等

【実施内容】

・令和元年2月14日（金）（参加者企業 68社、参加学生 68人参加）

※ 1人6社企業訪問をすることを指導

・令和元年2月18日（火）（参加者企業 68社、参加学生 70人参加）

※ 1人6社企業訪問をすることを指導

【評価と今後の課題】

毎年実施している事業で、企業側からのアンケートを参考に少しずつ改善を図っている。昨年度は参加企業数が多く、企業を絞り込んで参加依頼を実施したので、昨年度より企業数は減った。例年より企業側と学生とが説明を聞く機会が多くなった。また、これは、昨年度企業アンケートによる要望があり実施した。今年は迷いもな

く以前より移動がスムーズに進んだ。事前に訪問する企業を記載させ絞り込ませた状態だったが、企業研究が十分になされていない状況で今後の課題である。また、昨年度より実施した企業より1回20分では企業説明をするのに時間が短すぎると要望があり再検討する。

## 6. 国際交流センター業務（特記事項）

### ・学術交流協定校

令和元(2019)年度中に新たに3カ国3大学及び高校1校と学術交流協定を交わした。また、これまでの協定を見直し、15年以上交流のない2大学との協定を終了した。その結果、3月末現在、海外協定校は12カ国、25大学と1高校となった。そのうち6カ国16大学とは交換留学協定を、2カ国7大学とは双方の学位取得可能となるダブルディグリー(2+2)協定を締結している。

次表は、海外協定校一覧である。

表1. 海外協定校一覧（12カ国、25校、令和2年3月末現在）

NO.	協定校名	国	地域名	締結日
1	ポートランド州立大学 (Portland State University)	アメリカ合衆国	オレゴン州 ポートランド	1999. 2. 10
2	レスブリッジ大学 (University of Lethbridge)	カナダ	アルバータ州 レスブリッジ	2016. 5. 26
3	サザンクロス大学 (Southern Cross University)	オーストラリア	ニューサウスウェールズ州リズモア	2013. 2. 6
4	ラトロブ大学 (La Trobe University)	オーストラリア	ビクトリア州 メルボルン	2004. 4. 20
5	EMBA: Ecole de Management de Bretagne Atlantique (旧 ISUGA)	フランス	フィニステール県カンペール	2002. 7. 15
6	国立ウラジオストック経済サービス大学	ロシア	ウラジオストック	2005. 10. 12
7	ファーイースタン大学 (Far Eastern University)	タイ	チェンマイ	2008. 2. 18
8	中国海洋大学	中国	山東省青島市	2004. 7. 1
9	鶴崗師範高等専科学校	中国	黒竜江省鶴崗市	2011. 9. 26
10	大連海洋大学	中国	遼寧省大連市	2006. 9. 12
11	南通大学	中国	江蘇省南通市	2013. 12. 31
12	ハルビン理工大学(栄成学院)	中国	山東省栄成市	2014. 5. 14
13	遼寧師範大学歴史文化旅遊学院	中国	遼寧省大連市	2010. 12. 2
14	鞍山師範学院	中国	遼寧省鞍山市	2016. 6. 6
15	聖公会大学校	韓国	ソウル特別市	2005. 3. 22
16	大邱大学校	韓国	慶山市	2007. 3. 23
17	大邱韓医大学	韓国	慶山市	2017. 1. 14
18	ラーチャモンコン工科大学	タイ	ナーン県	2017. 5. 1
19	マルタ大学 (University of Malta)	マルタ	イムシーダ	2017. 12. 11
20	セントラルフィリピン大学 (Central Philippine University)	フィリピン	イロイロ	2017. 1. 31
21	オデッサ大学	ウクライナ	オデッサ	2018. 5. 11
22	信陽師範学院	中国	河南省信陽市	2019. 3. 1
23	サセックス大学	イギリス	サセックス州ブライトン	2019. 3. 14
24	ミズーリ州立大学	アメリカ合衆国	ミズーリ州ケーブジャラード	2019. 5. 16

25	瀋陽師範大学	中国	遼寧省瀋陽市	2019.9.5
----	--------	----	--------	----------

### ・ダブルディグリー(2+2)協定校

中国の6大学および韓国の1大学との間でダブルディグリーを与える協定が交わされている。この協定に基づいて毎年春と秋に3年次編入生として入学している。平成24(2012)年～令和2年(2020)年の累計は35名となった。

- ① 大連海洋大学 (中国)
- ② 南通大学 (中国)
- ③ ハルビン理工大学栄成学院 (中国)
- ④ 鞍山師範学院 (中国)
- ⑤ 大邱韓医大学 (韓国)
- ⑥ 信陽師範学院 (中国)
- ⑦ 瀋陽師範大学 (中国)

### ・日本語教育機関との学生受け入れ協定

中国の日本語教育機関との協定を解消したことにより、受け入れ協定校は日本国内の専門学校4校のみとなった。

- (1) 富山国際学院 (富山県)
- (2) アリス国際学院 (石川県)
- (3) 長野国際文化学院 (長野県)
- (4) 丸の内ビジネス専門学校 (長野県)

### ・海外留学・海外研修参加者

2019年度は日韓関係の悪化に加え新型コロナウイルス肺炎の世界的流行の兆しの影響により、現社5つの海外研修プログラムが中止となったため、派遣数は大きく減少した(表2&4)。なお、中止になったプログラムは表3の通りである。

海外留学は8名、そのうち英語国際キャリア専攻生が7名でその他の専攻からは1名のみだった(表3)。全員が英語圏への留学で、中国、韓国への留学はいなかった。

表2. 学部毎の海外派遣学生数

海外派遣総数	2016		2017		2018		2019	
	69		81		98		57	
各学部	現社	子ども	現社	子ども	現社	子ども	現社	子ども
	57	12	54	27	80	18	41	16
留学	11		7		11		8	
	10	1	7	0	9	2	8	0
インターンシップ	3		1		2		3	
	3	0	0	1	2	0	2	1
研修(教員引率)※	55		73		85		46	
	44	11	47	26	69	16	31	15

※異文化研修、国際交流実習、ゼミ研修、グローバルキャンパス

表3. 海外留学派遣国内訳 令2 (2019) 年度

留学内訳	2018			2019		
	合計	現社	子ども	合計	現社	子ども
アメリカ	1	1	0	2	2	0
カナダ	1	1	0	3	3	0
オーストラリア	2	1	1	1	1	0
イギリス				1	1	0
マルタ	3	2	1	0	0	0
フランス	0	0	0	1	1	0
中国	1	1	0	0	0	0
韓国	1	1	0	0	0	0
ウクライナ	2	2	0	0	0	0
留学合計	11	9	2	8	8	0

新規協定校が増えたことも留学数増加の要因となっている。ウクライナのオデッサ大学へ初めて留学生を送り出すことが出来た。また、昨年度協定校となったマルタ留学も人気があり、短期・長期留学共に増加している。

海外派遣促進策のひとつとして日本学生支援機構の奨学金が貰える短期海外研修プログラムを用意した（表4）。

表4. Jasso 奨学金に採択されたプログラム一覧 (2019 年度)

採択プログラム名	受給人数
韓国での地域課題解決基盤創造キャンプ	30
地域のグローバル化を担う海外インターンシップ	11
KINABALU ECOLINC PROJECT 協働支援プログラム	12
Japan's bridge across Oxbridge	14

表5. 海外研修プログラム参加者数

海外研修内訳	2018			2019		
	合計	現社	子ども	合計	現社	子ども
中国(異文化研修)	8	7	1	7	5	2
韓国( " )	13	10	3	0	0	0
オーストラリア( " )						
カナダ( " )	10	1	9	9	0	9
マルタ( " )	9	9	0	8	6	2
タイ/マレーシア( " )	7	6	1	0	0	0
デンマーク(環境専門研修)	9	9	0	7	5	2
シンガポール/オーストラリア(経情)	20	18	2	6	6	0
インターンシップ(カナダ・ベトナム)	2	2	0	3	2	1
ゼミ研修	9	9	0	9	9	0
研修合計	87	71	16	49	33	16

表6. 中止になったプログラムとその理由

プログラム名	中止理由
異文化研修 (韓国)・前期	日韓関係悪化により参加者
異文化研修 (オーストラリア)・前期	最少催行人数に達せず
異文化研修 (マレーシア)・後期	新型コロナウイルス肺炎感染拡大
異文化研修 (韓国)・後期	〃
グローバルキャンパス (経情)・後期	最少催行人数に達せず

・その他のグローバル人材育成の取り組み (英語力を高める取組み)

①チエルネット

クラウド型英語学習教材スーパー英語を私立大学改革総合支援事業経費で平成 29 (2017) 年度に導入し、在学生全員及び教職員の希望者が無償で使えるようになっている。利用率とその効果を高める努力が必要である。

②TUINS English Camp 2019 の実施

夏休みの 2 日間を英語だけで過ごす。主に留学や海外研修を控えた学生たち 16 名が英語に慣れ、英語に親しみ、英語に自信を持つなど様々な目的を持って参加した。

実施日： 8 月 11 日 (日) ～12 日 (月) [2 日間：宿泊なし]

場所： 富山駅前 CiC3 階富山国際学園サテライトオフィス

活動内容：

- 1) English Conversation (英会話教室)  
仲間とたっぷり英語で話し合う時間、ネイティブの教員が指導
- 2) World Adventures (世界探訪)  
本学の教員や外部講師から在外経験に基づく諸外国の話聞く会
- 3) TOEIC Preparation (TOEIC 受験準備)  
TOEIC の集中的な学習の機会

③TOEIC 受験の促進

現代社会学部、子ども育成学部共に正規授業として TOEIC の授業を開講して受験の備えを行っている。また、本学学生のための TOEIC 団体テスト (TOEIC IP) を 5 月と 12 月に実施した。1 年次で 470 点以上、2 年次で 600 点以上、3 年次の終わりまでに 730 点を超えることを目標に設定し、これらを超える得点となった学生には報奨金を与えている。

④TOEIC 受験者数と結果

TOEIC IP テストを 2 回実施した。前年度より受験者数は大幅に増加し第 1 回目の 6 月 15 日には 65 名 (現社 40、子ども 25)、第 2 回目の 11 月 30 日は 8 名 (現社 3、子ども 5) だった。結果は最高得点が 710 点、最低が 170 点だった。470 点以下が最も多く、600 点以上は両学部合わせて 3 名、730 点以上はひとりもいなかった (表 7)。

表 7. TOEICIP テスト学部ごとの集計結果

	全学	現社	子ども	全学	現社	子ども
試験日	2019/6/15			2019/11/30		
受験人数	65	40	25	8	3	5
～470	53	34	19	6	2	4
470～599	10	5	5	1	1	0
600～729	2	1	1	1	0	1
730 以上	0	0	0	0	0	0
800 以上	0	0	0	0	0	0
平均点	372	355	399	424	377	103
最高得点	710	610	710	710	505	710
最小得点	170	170	250	275	275	345

⑤チエルネット (クラウド型英語学習教材スーパー英語) を学生全員への利用推奨

3 年目となった 2019 年度は 1 年生のみに利用説明会を行った。現代社会学部のログイン率は 1 年生 95%、2 年生 67%、3 年生 49%、4 年生 49%、子ども育成 1 年生 74%、2 年生 5%、3 年生 74%、4 年生 0 という状況

である。しかし、継続的な利用者は両学部とも少ない。

#### ・その他語学関連の取組み

- (1) English Café620名利用者有るも運営が課題。
- (2) English Camp は2学部から16名が参加した。
- (3) グローバル人材1名取得（現代社会学部）。
- (4) ロシア語スピーチコンテスト5名が参加し、優勝、2位、3位に入賞した。

#### ・国際化への取組み

遼寧省の大学との教員・学生交流（学生交流は本学で実施）  
遼寧省の大学との交流（現地訪問：本学の学生が7名参加）  
受け入れ（顔講師一大連海洋大学から6ヶ月間）

#### ・教職員のグローバル化に向けての取組み

英語で対応するためのSD研修会  
日時：9月20日（金）13：30～15：00  
場所：本部棟2F会議室及び呉羽E館会議室（テレビ授業）  
講師：マーク・フランク現代社会学部准教授  
参加者 10人

#### <成果と課題>

- ① 学生、教員のグローバル化を目指した取り組みを行ってきた。学部教育では英語教育の充実、海外派遣の促進、地域で英語に関わる活動など多様に学生、教職員が参加した。東黒牧キャンパスでのEnglish Caféでは留学生と日本人学生が英語で交流することもしばしば見かけるようになったが、関係教員の働きかけによるところが大きい。これが学生たちの自主的な活動になるよう仕組みづくりをする必要がある。
- ② 海外派遣学生数を増やす方法のひとつとしてJasso奨学金に採択されるよう国際交流センター教員を中心に努力した。その結果、4つのプログラムが採択され67名分の奨学金を確保することが出来た。  
今後もプログラムの見直しは必須項目として検討すべきである。例えば異文化研修オーストラリアは未執行が多いが、学生アンケートによるとオーストラリアという地域や文化に興味のある学生が多い。このことから魅力ある研修プランを作ることは可能と思われる。更なる海外派遣学生数増加を目指すため、予算執行の効率化を図る点からも、早急な検討が必要である。
- ③ 2019年度後期は新型コロナウイルス肺炎の世界的流行により異文化研修韓国と国際交流実習（マレーシア）を中止にした。一方で実施したプログラムもあった。これは中止の判断基準が曖昧なのと、その判断がプログラム担当者に任されていたことが要因だった。危機管理の点から、今後は大学の危機管理の点からしかるべき部署の判断が必要である。
- ④ グローバル副専攻は現代社会学部から1名のみの認定となった。語学基準がハードルとなっている。1年生にこの制度の意義を説明し、早くから目標を持って取り組むよう働きかけることが重要である。学生による海外研修や留学報告などを開催するなどして、多くの学生に動機づける必要がある。
- ⑤ 留学生の入学者が減少傾向にあることが危惧される。長期ビジョンに立った戦略が必要である。
  - 学部1年生：国内の協定校との関係強化を図る。学生に対する説明会の開催や必要な便宜許与。
  - 編入（2+2）：重点校との関係強化。交換留学や教員交流の在り方を再検討し、受験者を確保できそうな協定校にサービスを集中する。特に重要だと考えられるのはハルビン理工大学、瀋陽師範大学、南通大学である。

#### ・外国人留学生受入数（交換留学生を含む）

正規生11名、交換留学生22名、研究生2名、合計35名の受け入れを行った（表5）。正規生の内訳は国内の日本語学校からの1年次入学が5名、中国協定校からのダブルディグリー入学が6名で、その合計人数は前年度より2名多かった。しかし、2019年度は日本人入学者数が145名と過去最高だったことから、入学者全体に占める留学生の割合は7.6%と前年度より低くなった。

正規生の出身国は中国、韓国が減少し、ネパールとベトナムが増え多国籍化している（表9）。非正規生（交換留学生及び研究生）はロシアとウクライナが前年度より増えている。ロシア・ウクライナに限らず殆どの協定校が

らの交換留学受け入れ希望が増えており、各協定校に対して人数制限依頼を行った。

表9. 年度別外国人留学生受け入れ数（年度別入学者数）

入学年度	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
学部1年生入学	14	20	25	19	10	16	11	8	6	9	6	5
編入学(2+2)	0	0	0	0	4	2	2	1	9	9	2	6
交換留学	17	17	14	15	17	15	10	9	14	19	22	22
研究生	0	8	7	7	0	8	5	0	3	2	1	2
留学生入学者総数	31	45	46	41	31	41	28	18	32	39	31	35

表10. 令和元(2019)年度正規入学生出身校

出身校	人数	所在国
鞍山師範学院	1	中国
ハルビン理工大学	3	
大連海洋大学	1	
南通大学	1	
富山国際学院	3	日本
富山情報ビジネス専門学校	1	
ARC 東京日本語学校	1	
合計	11	

#### 令和元年度留学生教育について

国籍	2019年度(前期)					国籍	2019年度(後期)			
	中国	韓国	ネパール	ベトナム	合計		中国	韓国	ネパール	ベトナム
正規生	29	3	2	3	37	25	3	2	3	33
非正規生	7(1)	3	2	2	7	15(2)	6	2	2	10

※非正規生のうち( )内は研究生

#### 学部留学生学年別

正規生人数	2019(前期)	2019(後期)
1年生	5	5
2年生	6	6
3年生	13(4)	15(6)
4年生	13(8)	7(2)
合計	37	33

※( )は編入2+2の学生

#### ● 奨学金受給状況：

奨学金名	金額(月額)	受給人数	
		前期	後期
富山国際大学奨学金	2万円 ※1	20	17
	4万円 ※2	2	2
富山県国際交流奨学金	5万円 ※3	3	3
	1万円 ※4	2	1
J a s s o 学習奨励費	4万8千円	1	1
朝日国際教育財団	3万5千円	4	4
朝日国際教育財団・特別奨学生	10万円	1	1

※1 富山国際大学奨学金（2万円）は協定校からの入学者のみに支給（対象外は前後期共8名）

※2       "               "               （4万円）は聖公会大学からの交換留学生のみに支給

※3 富山県国際交流奨学金（5万円）受給者のうち1名は協定校外の学生

※4 富山県国際交流奨学金（1万円）は協定校外からの1年生に優先的に割り当てている。

- 宿舎別入居状況： 大学が民間アパートを借り上げ、前期28室、後期27室を留学生に提供している。21名交換留学生のほか、6名の学部生も利用している。そのほか、近くのアパート及び富山市内の民間アパートを利用している。

### <実績と課題>

在籍している54名の留学生は、海外6カ国の協定校と日本国内にある日本語学校から進学してきた学生である。本学の海外協定校の数が増えることにより、受け入れた留学生数も年々増えている。大学は近くにある民間アパートを棟ごと借り上げて留学生に宿泊の便宜を提供していることから、通学の利便性、留学生同士の交流や友人関係づくりにプラスになっている。生活上の困難があったら、すぐそばに友達がいるので、お互いに助け合える。このことから留学生の大多数は、概ね安心、且つ充実した留学生活が送られている。その点においては、留学生派遣側から評価を得ている。

最近、交換留学生の数が増えられるとともに、大学近くにあるアパートの部屋が不足する状況になってきたため、各協定校に人数制限依頼をおこなった。

ここ数年来、正規留学生の質がよくなり、日本語レベルも高まりつつある喜ばしいこともあった。令和元年度、卒業した留学生のうち3名が大学院に進学、2名が日本で就職、1名が帰国することになった。

残念ながら自立性が弱く、且つ日本語能力も低い留学生が数名いるので、今後さらなるきめ細かな指導と温かい支援をし続ける必要がある。留学生それぞれの勉学意欲と日本語のレベルが相変わらず大きな差があるのを認識している。これらを踏まえて、今後もいろいろな面での厳しく、かつ多様な指導が求められる。

### ・日本語教育の現状

留学生に早く日本での生活に慣れてもらい、大学での勉強についていけるように、そして将来国際社会に有用な人材になってもらうために、留学生に対して日本語の教育に力を入れてきた。1年次入学時にプレースメントテストの成績によりクラス分けをして日本語の教育を行っていた。

#### ① 通常の日本語クラス

留学生を対象にした日本語のクラス

基礎日本語Ⅰ・Ⅱ（週2回）

中級日本語Ⅰ・Ⅱ（週1回）

実践日本語Ⅰ・Ⅱ（週2回）

上級日本語Ⅰ・Ⅱ（週1回）

日本語総合演習Ⅰ・Ⅱ（週1回）

日本語補習（前期週2回（中野、才田） 後期週4回（中野、才田、交換教員担当の2回）

※前期は、大連海洋大学との教員交流制度で着任した顔景義准教授が、週2回の補習授業を担当することにより、充実した教育を行うことが出来た。

そのほか、来る留学生の日本語のレベルの差が大きくて、特に非漢字圏から来た留学生が、全体の日本語の授業に着いていけるように日本語の補習授業を週に4コマ増えた（非常勤の留学生指導相談員である錢輝先生が担当した）。

- ② 通常の日本語補習の授業以外に、錢輝支援員・湯により日本語や生活、卒業後の進路などの指導が随時に行われた。

### <実績と課題>

新カリキュラムのシステム導入後、卒業までに日本語能力検定試験1級を取らないと卒業ができないという意識を今留学生の中で少しずつ持つようになった。各自が日本語の習熟度によって、自主的に検定試験を受けるようになった。昨年の12月までのテスト成績の把握状況は次の通り

日本語能力検定試験各学年の合格者数：

2019(前期)				2019(後期)		
学年	在籍数	N1 人数(%)	N2 人数(%)	在籍数	N1 人数(%)	N2 人数(%)
1年	5	0	0	5	1 (20)	3 (60)
2年	6	0	3 (50)	6	0	4 (67)
3年	13	1 (8)	5 (38)	15	4 (27)	10 (67)
4年	13	6 (46)	9 (69)	7	2 (29)	5 (71)

卒業するまでに日本語検定試験の1級に合格するという目標に達せ率は、まだ低いが、すこしは例年より高くなりつつある状態である。これから、いかに留学生の日本語のレベルを高めてあげるかは、課題だと思い、そして専任と非常勤の日本語授業の担当者との緊密な連携、情報交換、授業改善に力を入れることは目下の急務であると認識した。

### ・留学の生活指導

毎週の火曜日と木曜日の午後2：30～5：30の時間帯では、留学生を対象にする銭輝支援員による個別指導と支援を行った。必要に応じて特別教養演習も実施された。

内容は、日本語の勉強、日本の文化、伝統、生活習慣、日本の礼儀作法など、強制ではなく、自由参加の形であるため、参加者人数が多い時と少ない時もあった。そのほかに、留学生の悩み、困ることについての相談、遵守すべき規律、守るべきルール等の指導とアドバイスも随時行われていた。

授業のほかになるべく日本の地域社会あるいは日本人との触れ合いのできるチャンスを与えようと下記の体験活動を実施し、イベントへの参加を案内した。

(安全管理・活動指導のために岩木学生課長・湯麗敏が同行した)

	行 事	期 日	場 所	参加人数 (留学生)
1	外国人留学生県内研修 (チンドンコンクール、市内への見学、お花見)	4月6日(土)	富山市内	20
2	外国人留学生県内研修 (チューリップフェア会場・白川郷)	4月29日(土)	砺波市・白川郷	21
3	中国人留学生による模擬店の開催	10月26,27(土・日)	富山国際大学	25
4	外国人留学生「黒部峡谷異文化体験」	11月4日(月)	黒部市	23
5	富山市国際交流フェスティバルへの参加留学生 日本異文化体験発表会の開催	11月17日(日)	富山市内	15
6	留学生による宇奈月温泉現地での観光調査研究	11月21日、22日 (木・金)	黒部市宇奈月町	12
7	富山国際大学留学生総会・懇談会	12月19日(木)	富山国際大学	40

### <実績と課題>

令和元年度もいろいろなボランティア活動への参加により、留学生たちの日本社会、日本人、日本事情を理解することに大いに役立った。

今後、より充実した留学生活を送ることができるよう留学生一人ひとりが日本人と触れ合い、友達を作り、積極的にコミュニケーションが取られるように努力をしてもらいたい。卒業後に日本社会や母国に貢献する有用な人材になれることを願っている。

年度末に一時帰国を予定していた留学生が数多くいたけれども、未曾有の新型コロナ肺炎を拡大防止するために、大学の呼びかけに答えて全員一時帰国を取りやめた。しかし、長期休みに入り、宿舎に残っていた留学生たちへの生活指導、危機管理、外国人滞在ビザの許可、延期できるかどうかなどいろいろな問題が発生する可能性がある。このような緊急時期、非常時期の留学生管理が大変重要な課題として看做さなければならない。いざという時に迅速かつ正確な対応ができるよう努めなければならない。